

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ヒューマンサービス基礎演習	1	前期	必修	いいえ	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>対人援助の専門家として基礎的に必要とされるスキル(①自分を表現する力を形成する、②コミュニケーションを通じて関係をつくる力を形成する、③人と協力して物事を進める力を形成する)について、小グループに分かれ参加型・体験型の演習プログラムを中心とした授業を行った。上記の目的を達成するために、各自の意見・感想を率直に述べられるような雰囲気作り(例:「他者の意見を批判・批評しないこと」を約束とするなど)に努めた。また各自の内省力を高めるために、グループ討議だけでなく、毎回振り返りシートを作成し、記入させた。1年前期の必修科目であるため、学生の学修準備性にはバラつきがあると想定されるが、学生にとってなじみのあるゲームやエクササイズを準備しこれに対応した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は81.6(±3.6)であり、全ての学生が標準もしくは理想的レベルに達していた。また学生の自己評価についても全ての項目において平均値が3.9～4.6と高く、特に本科目の目的である「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が4.6であったため、その教育目標は達成できたと評価している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉基礎科目として位置づけられている。学科のCPとも合致すると考えられる。学生は「必修科目である」ことを受講動機にしている者が100%であり、他の項目を選択した者はほとんどいなかった。ただし学習到達度の自己評価の平均値がいずれの項目においても高いため、自分の能力やスキルの向上を実感できたものと考えられ、内容的妥当性があると評価している。一方DP及び行動目標から検討すると、DP4,DP5ともに十分に達成されていると評価でき、方法的妥当性もあるものと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についてはすべての項目の平均値が4.3~4.6と高く、演習という形態の授業であること、授業の実施にあたって重点を置いてきたことと合致した結果と考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>成績及び学生の到達度評価、授業の質評価の全てにおいて高い数値を示しているため、本科目の教育目標は達成できたものと評価している。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉谷修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会調査の基礎	3	前期	選択	はい	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は3年生対象のため、社会福祉に関する一定の理解を前提としている。社会調査の種類や目的、統計法や調査倫理といった範囲がそれに相当する。しかし、調査技法とその活用については数学的知識などが必要となる箇所もあり、高校までの学修や心理統計法の履修状況により学生間の格差が大きいことが予想される。</p> <p>そのため、導入部分でどの程度統計的な理解があるかを直接確認するとともに、計算よりも統計的手法がどのような対象をどのような意味で分析するのかという意味を理解することを中心に授業方針を解説した。これにより統計に対する苦手意識が多少解消できたと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解に関してはポイントを絞ることによって一定満足できる結果となった。単に用語を暗記するだけでなく、その意味を理解し、実際の統計活用の場面と結びつけるという意味での技能表現も同様であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の専門や学年にかかわらず開講されている科目であり、特定の試験など外部の評価スケールと連動している科目ではないため、学生自身が知的好奇心を働かせて楽しめる授業を行うことが必要であると考えている。その意味で内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方としては、社会調査の意義から調査の実際のあり方の例を取り上げ、おおまかなイメージを形成できるよう心がけた。その上で分析技法としての量的調査と質的調査を詳しく解説した。</p> <p>統計学の簡単な解説をもとに、それが社会調査として利用されるときどのような意義を持つのか、それらの技法の違いはどのような調査対象と結びつくのかといった対応の理解に焦点をあてた。また、具体的な例を取り上げてイメージ化を促進し、ポイントは何度も繰り返した。</p> <p>試験問題に対してはある程度余裕のある学習となったと思うので、今後は自分で簡単な調査を計画してみるなど一層の興味関心と理解を促進する取り組みを行いたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>試験問題は解けるが「わかった」という実感がどこまで持てているのか、その点も踏まえて次年度の授業を計画したい。自覚的理解の程度は応用力の目安となるため、より多くの演習問題を自力で解答できる機会をもうける予定である。また、マンガやキャラクターなどを活用することで、学生の抵抗感をなくし、3年以降の社会調査の学習がスムーズに進む土台作りを行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉原 好則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉行財政と福祉計画	3	前期	必修	はい	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年生になって、全員が社会福祉士を目指すわけではなく加えて、日常生活においてなじみの少ない内容のため何を学ぶかをイメージしにくいことが課題である。受講動機を見ると「必修科目である」92.9%、「資格取得に必要である」36.9%と2つの数値に差があること、「関心のある内容である」3.6%とかなり関心が低いことがわかる。 ②日本の財政状況や北九州市の財政について具体的に解説を行うように努めた。また、福岡県や北九州市の福祉計画の実物を入手し、学生に提示し、計画の策定過程や実施状況について講義を行うようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>レポートでの評価は、全員が標準レベルに達していたが、問題を掘り下げて考える力が不足していた。 学生は、教科書や図書館で資料を集めて調べていた。 次年度に向けて、より様々な資料を提示し、学生がさらに理解が深められるよう支援したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。  &lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP 本科目は「専門科目であり」必修である。国家試験の科目であり、学生も必要に迫られ真面目に受講していた。成績も標準レベルには、全員が到達していた。内容的には妥当であると考えます。 ②DP 成績評価では、課題の掘り下げに物足りなさを感じたが、社会福祉士として備えていなければならない知識を学ぶことができたと思える。内容的には妥当であった。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験の対象科目であるため、教科書に沿って授業を進めた。日頃耳慣れない専門用語が多く出てくるので、できるだけわかりやすく講義を行う必要がある。具体的事例を多く集め解説を行う。 専門用語に日頃から慣れていくよう支援を行う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>知識・理解においては、一定のレベルに達することができた。今後は、学生の苦手科目の意識を減少させ、少しでも行政や福祉計画について身近なものにとらえていくように支援していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉原 好則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉経営論	4	前期	選択	はい	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①4年生になって、社会福祉士を目指す学生が受講する科目である。受講動機を見ると「必修科目である」34.8%、「資格取得に必要である」87.0%と2つの数値に差があること、「関心のある内容である」5.8%とかなり関心が低いことがわかる。</p> <p>②本科目は、卒業してすぐに役に立つというものではなく、卒業後10年～20年たって管理職になった時に役立つ科目である。従って、将来管理職を目指す学生にとっては、大事な科目である。</p> <p>③本大学が設立した、高齢者複合施設の実例を用いて学生に身近な問題として学んでもらえるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>レポートでの評価は、全員が標準レベルに達していたが、問題を掘り下げて考える力が不足していた。学生は、教科書や図書館で資料を集めて調べていた。次年度に向けて、より様々な資料を提示し、学生がさらに理解が深められるよう支援したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP 本科目は「専門科目」である。国家試験の科目であり、学生も必要に迫られ真面目に受講していた。成績も標準レベルには、全員が到達していた。内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DP 成績評価では、課題の掘り下げに物足りなさを感じたが、社会福祉士として備えていなければならない知識を学ぶことができたと思う。内容的には妥当であった。将来管理職に就く社会福祉士にとっては、しっかり学ぶべき科目と考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>国家試験の対象科目であるため、教科書に沿って授業を進めた。日頃、耳慣れない専門用語が多く出てくるので、できるだけわかりやすく講義を行う必要がある。 具体的事例を多く集め解説を行う。 専門用語に日頃から慣れていくよう支援を行う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>知識・理解においては、一定のレベルに達することができた。今後は、学生の苦手科目の意識を減少させ、将来管理職に就いた時のイメージづくりができるように支援していきたい。</p>
-------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	山根正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子ども家庭福祉論	2	前期	必修	いいえ	106

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2年生前期の福祉専門科目で必修科目である。授業内容の性格上、知識理解、思考判断を促すことが主目標となる。この科目に関心のある内容であると答えた学生が少数であり、子ども分野での仕事を志向する学生のみならず、将来のことを考え、授業内容について次年度以降も修正を加え関心を高めるよう工夫したい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期試験の結果は福祉・心理・養護教諭コースが平均点64点、子ども家庭福祉コースが54点とコース間で差が大きかった。再試験の受験者は子ども家庭福祉コースは5割を超えた。コースの性格上本科目についての基礎的な理解が望まれるので、次年度動機づけを含めて工夫したい。到達度の項目の中でコミュニケーションや表現力向上については機会の制限もあり、学生の評価も低い。技能表現については、授業の中で確認が困難であったこともあり、次年度に向けて検討したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP: 本科目は福祉専門科目でありかつ現代的なニーズも高い内容である。学生の成績が概ね例年どおりであり内容的に妥当と考えられる。②DP: 思考判断で単なる知識の習得の可能性もあるが、以降に開講される科目の履修などで、深めていける側面もあり妥当性としては問題がないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①現代的なニーズの課題から法令の変更等が頻繁に行われている。昨日の知識が今日は古いことさえ起りえる。そのため即自的な情報の付与やそれに基づく試 行判断・意欲関心を高めていけるように、さらに授業を方法内容を検討したい。②配布資料について学生から意見があった。指摘は理解もできるが、授業中の強調 点や思考の範囲を広げるための提案等について、そこから忖度する力を学生にも身に付けてほしい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>2年次の専門科目でもあり、学んだ内容から将来の専門分野の選択にも影響することが考えられるため、できるだけ情報を提示し学生が、知識理解を深め思考判 断できるように努めたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公的扶助論	3	前期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「資格取得に必要である」67.3%、「必修科目である」40.0%であった。社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置くとともに、生活保護の被保護者に対して、ネットではびこっている偏見を決して鵜呑みにすることのないよう、生活保護制度や被保護世帯の実態を正確に伝えることに重点を置いた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期試験の平均点は70.28点(福祉心理養護教諭コース73.75点、子ども家庭福祉コース54.91点)、再試対象者は15名であった。子ども家庭福祉コースの学生の平均点が福祉心理養護教諭コースの学生と比べて大幅に低かったのは残念であった。また、理想的レベル(80点以上)に達した者は22名であった。到達度自己評価について、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれも成績との相関関係が見られる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは比較的高い。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「説明は理解しやすいものであった」、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は3.6、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は3.5であった。また、授業の課題以外に学習していない理由として「授業で十分だったから」、「他の課題が多かったから」という意見が見られた。他方、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均が2.7と低い。かつて質問を受け付けていたら、質問が殺到し、担当教員の体調や他の業務に支障が出たことがあったので、教員の業務の負担にならない程度で、学生の質問を促す方策を考えたい。学生の意見について「進める時間配分が悪い」、「ぎりぎりまで授業しすぎ」、「早口すぎて、何をいっているかわからない」という意見があった。90分の授業について、90分授業を行うことは何ら批判に値しないと考えるが、時間配分と話すスピードについては改善の余地があると考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えている。時間配分と質問を促す方策については、検討する余地があるが、それを除けば、改善すべき点は特にないと考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
医療福祉論	2	前期	選択	いいえ	99

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一般市民としての教養ではなく、利用者、当事者、患者への関わりを専門職として行うならば、興味を持ち、理解し、知識を蓄えることを願って具体的な社会事象を取り交ぜ新聞や資料を配布しながら指導したが、受講動機で、「関心のある内容である」は9.1%と低く、また、「資格取得に必要である」が40.9%、「単位数を確保する」が5.7%であり、約半数が当方の思いとは乖離していることが伺えた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成されなかった		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価DP(1)～(7)までの平均値が3.0を超え一応の理解は出来るものの、「まあそう思う」が主な回答になっており、評価は高いとはいえない。しかし、(7)～(9)に答える者がいたことは喜ばしい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP行動目標からみでの内容的妥当性 少数ではあるが(2)～(7)の項目に対し2割から3割の学生から到達度を評価されている。</p> <p>②カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容的妥当性 本科目が「福祉専門科目」として位置づけられているが、必修科目と付随する部分が多く、概念的な思考が整理されない部分が多く抽象的に捉えられ理解が一部に止まっていたものと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>シラバスに沿い、教科書を中心に進めたものの、結果として1セッションごとに講義が終わり、理解しづらかった点は反省する。しかし、実践的な話に対しての興味を持ってくれる学生もあり、今後は話とともに区切れ良く講義を進めて行くことにする。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>学生の進路がいずれの領域になるにしても、医療は切り離せるものではなく、むしろ学び得ておくべきことだと思う。可能な限り実践現場における問題や起こりうることなどに対し即応できる知識の習得を考えると、話が多くなってしまったことに対する反省とともに今後においても具体的に学ぶことがどのように反映するのが指導して行きたい。数は少なくとも学習達成していることで評価されていると考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
司法福祉論	4	前期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「資格取得に必要である」81.1%であった。4年生対象の科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験を受験する予定の学生が多いことから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、主な支援の対象者である保護観察対象者も社会の一員であり、先入観や偏見を抱かせないことに重点を置いた。また、更生保護の現場に携わる職員を外部講師として招き、援助のイメージの具体化に努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期試験の平均点は80.53点、再試対象者は8名であった。また、理想的レベル(80点以上)に達した者は27名であった。到達度自己評価について、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれも成績との相関関係が見られる。なお、履修者数のわりに再試験対象者がやや多いが、平均点等から考えると、当該学生個人の努力不足によるものであると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生がほとんどであり、学生の講義に対する動機付けは非常に高い。履修者の過半数が理想的レベルであることから、内容的には妥当であると考えられる。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えられる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「説明は理解しやすいものであった」の平均値は4.1、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は4.0であった。また、学生からの意見も「レジュメがわかりやすかった」、「説明がとても分かりやすいです」など、肯定的なものがみられた。また、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習に「国試対策」が見られる一方で、授業の課題以外に学習していない理由として「特にする必要がないと思ったから」という意見が見られた。このほか、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均が2.7と低い。かつて質問を受け付けていたら、質問が殺到し、担当教員の体調や他の業務に支障が出たことがあったので、教員の業務の負担にならない程度で、学生の質問を促す方を考えたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれも達成できたと考えている。質問を促す方策については、検討する余地があるが、それを除けば、改善すべき点は特にないと考えている。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
介護技術演習	2	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、主に外部講師2名(高齢者介護の実務者)が担当している。授業評価アンケートにおいて本科目の受講動機は「関心のある内容である」(88.9%)となっており、本科目に対する学生の関心・意欲は非常に高い。こうした点から学生のモチベーションを維持できるよう、外部講師との連携のもと教授内容や指導方法を工夫している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、知識理解(DP1-1、DP1-2)及び技能表現(DP5-1、5-2)について、「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」の合計割合が100%となっており、教育目標は達成されたと言える。一方で、講義内に実施した最終確認の実技テストや提出されたレポートからは知識・技術の修得が不十分な学生も見られ、この点では教育目標が十分に達成されたと言えない状況も推察された。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>上述の通り、DPについてはある程度達成しており、特に問題はないと考える。また、CPおよびカリキュラムマップにおいても、受講学生の動機・意欲が高かったことや、3年次の実習前に開講していることなどから、問題はないと考える。ただし、受講学生が11名(例年10名前後)と少ない点は、その理由について精査する必要があると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>これまで通り、外部講師との連携を密に図りながら授業を展開していきたい。また、授業内容については可能な限り、学生の希望等も反映させていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>上述の通り、教育目標はある程度達成できたと考える。受講人数が少ないことについては今後の課題としたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	文屋典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
家庭支援論	4	前期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「資格取得に必要である」が63%、「単位数を確保する」が29.6%であり、「関心のある内容である」は25.9%にとどまった。子ども家庭福祉コース以外の学生も3分の1程度受講していたため、保育士の行う家庭支援に特化しすぎず、生活上の問題を抱えた家庭の状況について、様々な事例や視聴覚教材を用いて、受講者の関心を高めるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された			やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生による到達度自己評価によると、各項目間で大きな差は見られないが、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」において、やや高い評価が得られた。グループワークなどを通して、各自が家庭支援をめぐる様々な状況に問題意識をもち、多角的に状況をとらえたり、支援方法について考察したことが結びついたと考える。</p> <p>学習量の評価においては、大半の学生が与えられた課題をこなすことに終始している状況がみられるので、来年度以降は自発的学習に結びつくような工夫について検討していく必要がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士養成指定科目であるが、子ども家庭福祉コース以外の学生で単位数確保のため履修する学生も3分の1程度いることが予想されるため、意欲関心に関する達成を目標とし、学生も一定の達成度に到達したことから内容的には妥当であると考え、知識理解の達成を目標に加えることなど、DPにおける本科目の位置づけについて再検討する必要がある。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が4.4と高い値となっており、学生の目標達成と達成までのプロセスについては当初目指したものに達することができたと考えられる。しかし、「学習量の評価」において課題が残っているため、知識理解の達成目標を学生に明示し、課題の達成と目標達成との関連を明確にすること、課題達成のための学習計画を立てられるよう工夫することなど、改善を行っていききたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉学において主軸となる科目ではないが、各領域との関連が深く、これまでの専門科目での学びを総括しつつ、新たな知識や関心をもつことに学生が意欲をもてるような科目としていきたい。自発的学習の評価や図書館利用に関する評価においてその成果が問われると考えられることから、この点における改善・向上をめざしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉原 好則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①2年生の必修科目である。受講動機を見ると「必修科目である」100%、「資格取得に必要である」12.5%と2つの数値に差があること、「関心のある内容である」0%と関心が低いことがわかる。</p> <p>②本科目は、面接技術や児童虐待のケースの進行プロセスについて学び、実際のケースに対する能力向上のためのロールプレイやグループ学習を取り入れた授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>レポートでの評価は、全員が標準レベルに達していたが、問題を掘り下げて考える力が不足していた。演習なので、何をどのように予習したらよいかわからないとのことであった。次年度に向けて、次の週の課題を提示することにより、相談援助についての理解を深めるよう支援したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP 本科目は、必修科目であるので、学生は義務的に受講していたが、少人数の演習なので真面目に受講していた。成績も標準レベルには、全員が到達していた。内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP 成績評価では、面接技術や児童虐待ケースへの対応プロセスについての理解や知識は修得したようである。課題の掘り下げに物足りなさを感じたが、社会福祉士として備えていなければならない知識を学ぶことができたと考えます。内容的には妥当であった。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>面接技術の向上に向けて、ロールプレイやグループ学習を行い、現場で役立つ能力を身に付けさせる演習を行った。 具体的事例を多く集め解説を行う。 専門用語に日頃から慣れていくよう支援を行う。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>知識・理解においては、一定のレベルに達することができた。今後は社会福祉士として、しっかり面接技術を向上させ、問題を抱えている人々への支援ができるように指導していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必修科目であり、学生の授業への関心・準備性にばらつきがみられる科目である。一方で、本科目は対人援助職である福祉専門職(社会福祉士、精神保健福祉士、保育士)や養護教諭に不可欠な基礎的コミュニケーション力及び面接技法を習得する内容である。したがって、学生が学習意欲を維持・向上させながら上記の基礎的を習得できるよう内容等を工夫した。具体的には具体的な支援事例の提示・検討、ロールプレイの導入等を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成されなかった	やや達成された	やや達成された	達成されなかった	達成されなかった
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解(DP1)、思考判断(DP2)については、レポートの内容から一定程度の学びを確認することができた。一方で意欲関心(DP3)、態度(DP4)については、アンケート結果より授業への準備・復習への取り組みが不十分な状況(準備・復習を全くしない:準備77%、復習61%)が明らかとなっており、達成されなかったと思われる。技能表現(DP5)は、学生個人でばらつきが見られるものの、グループディスカッションやロールプレイの状況等から、総じてやや達成されなかったと判断できる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は、対人援助の基礎力(特にコミュニケーション力、面接技術)を習得する科目であり、必修となっている。学生の学習意欲の向上への課題は見られるものの、CPおよびカリキュラムマップ上における内容の妥当性に問題は無いと考える。</p> <p>②DP、行動目標から 意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)の達成に課題があるが、これには教授内容(教材を含めて)や方法等の要因が大きいと推察される。したがって、DPIにおける内容の妥当性に問題は無いと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業に対する関心・意欲といった面で課題がある。本科目は必修科目であり、また対人援助職としての基礎力を習得するものである。今後は、学生の関心・意欲面での準備性を把握しながら、授業に臨みたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>上述の通り、学生の動機づけといった面で課題が明らかになった。その点、本年度は事例検討やロールプレイ等を活用したが、効果は十分でなかったと言える。来年度に向けた課題としたい。</p>
------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2年次開講の必修科目であり、学生の主体的・積極的な参加が期待される科目でもある。前半は指定内容についての演習であるが、後半は調べ学習学習内容のプレゼンテーションと、技能表現・態度に関する者に関連する内容であり、この点についての学生の学修の進展を促進するように計画した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の到達度に関する自己評価及び教員からの観点からも、2年次での学習内容としては概ね達成できていると言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP:福祉専門科目として必修であり、その後の相談援助演習に繋がる科目でもあり、内容構成について一応の妥当性があると考えられる。DP:達成度について完璧とまではいかないが大半の学生が準備ができたと判断でき妥当であると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>2年次前期科目であり、基本的な専門用語についての未学習の要素もあるが、以降の福祉専門科目等で学習を深めていけるものと考えられる。グループ発表のために、一部学生の学生であるが、図書館やインターネットを利用するなど主体的に取り組んでいた。インターネットについては利用方法や、選択の仕方について指導した。基礎的な文献を参考にして学習することをさらに推奨したい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>専門分野について主体的に調べ、準備した内容を参加学生にプレゼンテーションしていくことは、学生の内容の理解のみならず、コミュニケーションの能力の開発にもつながる科目であるため、次年度も授業への動機づけを含めて授業内容方法を再度工夫していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると「必須科目である」87.5%、「資格取得に必要である」43.8%、「関心のある内容である」および「単位数を確保する」がそれぞれ6.3%であった。到達度自己評価では、「自分が学ぼうとしている専門分野の学びを深めたいという意欲をもつことができた」では、「かなりそうだと思う」56%、「わりにそうだと思う」31%であった。受講動機では、「必須科目である」が約9割、「関心のある内容である」が1割未満であったことから、学生が関心を持って授業に取り組むことができるような工夫が必要である。今後は、オリエンテーションにおいて、本演習により得られた学びが将来の仕事にどのように活かせるのかについてイメージ出来ような説明を行い、学生が関心を持つ課題などの設定を工夫していく。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均点は、83.5点であった。学生の到達自己評価においても、すべての項目で平均点が4点(④わりにそうだと思う)以上であった。特に「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」および「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は、4.5点であった。成績および到達自己評価の結果から、全ての学生が標準レベルに達したと判断される。また、自由記述の部分において「新聞記事を読んだ」との記述もあったことから、一部の学生に限られているものの、自主的な学びを促進することができたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、必須科目であるとともに、社会福祉士および精神保健福祉士受講希望者に必須科目である「相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」につながる重要な科目である。自由記述において「他科目と関連づけて勉強した」との記述もみられ、本科目の重要性について理解できている学生もみられた。成績評価および到達自己評価の結果から、内容的妥当性に問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>予習・復習をした学生は少なく、また、図書館やインターネットを利用した学生も少なかった。一方、自由記述では、「新聞記事を読んだ」「分からない単語を調べた」との記述もあった。学生が、講義外の時間に学ぶことができるような課題を提示していくことが今後の課題である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>成績および到達度自己評価の結果から、概ね教育目標を達成することが出来たと考えられた。自由記述では、「グループワークを通しての学生間の意見交換が良かった」との意見もあり、また、到達度自己評価では、「コミュニケーション力を高めることが出来た」の平均点が高かったことから、今後も、グループワークを用い、じっくり検討しあう時間を意識的に提示していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	文屋典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅱ	2	前期	必修	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「必修科目である」が100%であり、「関心のある内容である」は5.9%にとどまった。演習科目においては、学生の受講に対するモチベーションの低さが障害となるため、これまでの講義系科目で記憶している専門用語を日常の中の身近な場面や様々な事例を用いて説明することによって、理解を深め、受講者のモチベーションを高めるよう努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生による到達度自己評価によると、各項目間で大きな差は見られないが、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」において、やや高い評価が得られた。グループワークを通して、相談援助場面において生じる様々な状況を多角的に捉えたり、支援方法について考察したことが結びついたと考える。グループでの話し合いにおいて他者の意見に安易に同調せず、自分と異なる意見も受け入れることを重視して進めたことが結びついたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はDPのすべての項目に当てはまるものとして位置づけ、グループワークなどの演習を通して達成を目標とした。学生も一定の達成度に到達したことから内容的妥当性は保たれていると考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が4.2と高い値となった。グループワークにおいて、他者の意見に安易に同調しないこと、自分と異なる意見も受け入れること、視点を変えて考えてみることに重点をおいて話し合うことを繰り返し促したことによって、演習の質をある程度保つことができたと考え。学生の目標達成と達成までのプロセスについては当初目指したものに達することができたと考え。しかし、「学習量の評価」において課題が残っているため、課題達成のための学習計画を立てられるよう工夫することなど、改善を行っていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>これまでの専門科目での学びを総括しつつ、他者の意見を聞きながら自分自身の意見を明確にもつこと、様々な視点から考えることを経験しながら的確に判断する力を養うことに重点をおきながら演習の質を高めていくことを今後めざす。また、新たな知識や関心をもつことに学生が意欲をもてるような科目としていけるよう、自発的学習の評価や図書館利用に関する評価においてその成果が問われると考えられることから、この点においての改善・向上をめざしていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	いいえ	65

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、社会福祉士指定科目としての位置づけにある。学生の受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」(81.0%)の一方で、「関心のある内容である」(8.6%)となっており、学習への意欲や準備性を考慮した授業を展開する必要がある。こうした現状を踏まえ、本科目では学生がソーシャルワークを実践的に学びながら、社会福祉士への動機づけとなるよう努めた。具体的には、担当教員の各専門分野におけるソーシャルワークの事例を扱い、支援内容の検討、ディスカッション等を積極的に取り入れ、体験・参加型の授業となるよう努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	達成された	達成されなかった	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度、本科目の成績の平均点は79.8点であった。また、学生の到達度自己評価の「全般的評価」を見てみると、「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそうだと思う」の合計が98%と非常に高い割合を示しており、教育目標はある程度達成されたと考える。しかし、学習量に目を向けると、「30分程度の予習を1回以内」が81%、同じく「復習を1回以内」が91%となっており、意欲関心 (DP3)について目標達成が十分でないと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラム上の位置づけ 本科目は社会福祉士指定科目であり、教授内容の一部は相談援助実習と連動している。既述の通り、学生の成績も非常によく、CPおよびカリキュラムマップ上における内容の妥当性には問題ないと思う。</p> <p>②DP, 行動目標から 既述の通り、学生の到達度自己評価も総じて高く、内容的にも問題ないと思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、相談援助演習Ⅲ及びⅤと連動したオムニバス形式の授業である。教授内容について一定の枠組を設けているが、詳細は各教員の専門領域に基づく内容となっている。今後も教員間の情報共有を密に行っていく必要があると考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>教育目標については、標準的水準を十分に達成したと考える。既述の通り、今後も教員間の連携を密に図り、授業内容・方法等の質の向上を目指したい。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉原 好則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅳ	3	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①3年生になって、社会福祉士を目指す学生が受講する科目である。受講動機を見ると「必修科目である」46.6%、「資格取得に必要である」81.0%と2つの数値に差があること、「関心のある内容である」8.6%と関心が低いことがわかる。</p> <p>②本科目は、福祉事務所において生活困窮者の相談援助を行う際に必要な知識や制度をどのように有効に活用するかについて、ロールプレイやグループ学習を取り入れた授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>レポートでの評価は、全員が標準レベルに達していたが、問題を掘り下げて考える力が不足していた。演習なので、何をどのように予習したらよいかわからないとのことであった。次年度に向けて、次の週の課題を提示することにより、相談援助についての理解を深めるよう支援したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP 本科目は、社会福祉士国家試験受験のための必要科目であるので、学生は義務的に受講していたが、少人数の演習なので真面目に受講していた。成績も標準レベルには、全員が到達していた。内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP 成績評価では、福祉事務所での生活困窮者に対する支援プロセスについての理解や知識は修得したようである。課題の掘り下げに物足りなさを感じたが、社会福祉士として備えていなければならない知識を学ぶことができたと考えます。内容的には妥当であった。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>面接技術や処遇困難ケースへの対応能力向上に向けて、ロールプレイやグループ学習を行い、現場で役立つ能力を身につけさせる演習を行った。 具体的事例を多く集め解説を行う。 専門用語に日頃から慣れていくよう支援を行う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>知識・理解においては、一定のレベルに達することができた。今後は社会福祉士として、しっかり面接技術を向上させ、問題を抱えている人々への支援が可能になるよう指導していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神障害者の生活支援システム	2	前期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○		○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、選択科目にも関わらず「必修科目である」が15/23人おり、「資格取得に必要」が19/23人と、なっている。精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答したと考えられる。学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。</p> <p>②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、講義の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。</p> <p>③授業の実施に当たっては、できるだけ具体的な内容を含めて、説明を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は84点であったが再試対象が2名いた。理想的レベル(80点以上)に到達した学生は16名と、全体的な到達度はやや達成されたと考えている。一方で、2名の学生が再試対象となっており、個別の理解度を中間地点で把握できるような仕組みの導入を検討したいと思う。意欲関心に関しては、毎回の授業の振り返りシートの記入により、高まっていたことがわかるため、達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>【DP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性について】</p> <p>本科目は「専門教育科目」の中の精神保健福祉関係科目であり、1年後期から始まる精神保健福祉士コースの科目の制度系科目の積み上げに位置する。精神保健福祉士国家試験受験科目として、受講する学生がほとんどであるため、資格を取得した後の専門職になった時に必要な知識や理解、興味関心を広げ、精神保健福祉士としての視点や役割が理解できるように授業を進めて、2年後期の援助技術系の科目への橋渡しとなっている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業評価においては、「学習量の評価」で、どのような文献等を読むべきか迷ってしまった、何をしたらよいのかわからなかった、時間がなかった、忙しかった、といった記述があった。読んだ方がよい文献の提示についてニーズがあることが分かったので、お勧めの本や、具体的な予習復習の方法について、示す必要があると考える。一方で、歴史などをまとめた、精神障がいに関する本を読んだ、関連のあるテレビをみた、復習した、といった具体的に取り組んだ学生もいたため、頻回に、紹介したり促したりすることで、具体的に行動できる学生が増えていくのではないかと考えるので、次回はより多くの機会を設けて、文献紹介や具体的な勉強方法について、一方向での説明に終わらずに、学生とやりとりをしながら双方向の情報提供を組み込んで行こうと思う。授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた、の項目が平均点3.0で、他の項目に比較して低かった。講義系科目であるため、話し合ったりする機会を多く作れないのが現状ではあるが、事例を考えたり、現状の課題について扱うコマの中で、話し合う機会を作っていくようにしたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生がほとんどの受講生をしめる本科目において、学生の勉強への動機づけはある程度学生自身できてきていると思われる。授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないと思う。次回から、この点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	今村浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	3	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であることから、他の受験資格科目との関連性を考慮して講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1, 2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習に伴う補講の件、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを行ったり、前期のみの講義で、30コマあることから学習状況確認のために、16回目に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、80点以上が約3割を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけではなく、幅広く障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するための専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものを感じられた。また、精神保健福祉士の受験資格を取得しない学生の受講もあったが、障害福祉や医療福祉領域に興味があるということ、意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ても内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が3.4と低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していきたい。次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということで、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、2年次に受講していない学生（進路変更者等や、障害福祉領域、医療福祉領域に関心を持つ者）受講していることから、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととしたい。また、後期にこの講義のⅡが設定されているので、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得すすために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度は予習復習に関して具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	平田健太郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神疾患とその治療	3	前期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講生を見ると、受講同期としては資格取得に必要である81%、必須科目である50%、単位数を確保する23%、と大多数の学生の受講動機はかなり高く、積極的に授業に臨んでいるものと考えて講義を進めた。その際、国家試験問題を参考にして最低限のレベルは維持することをに努めた。また、意欲を高めるために、随時、過去の国家試験問題を提示した。②「学生の質問を受け付け、それに答える機会」として、授業毎に、受講者が「講義の感想、質問、意見など自由に書いてください」と記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業の冒頭で質問には出来るだけ答えたり、知識の足りないところを補ったり、修正したりした。このことは、知識を深めたり、授業への参加意欲を高めることにつながったと考える。③代表的な精神疾患に関しては、講義の初めに模擬患者のイメージVTRを5～10分間提示し、そのうえで講義を行うように努めた。④毎回、講義の最後に、「本日の講義の要点、キーワード」として4～5項目を板書し、学習の一助とした。⑤学期末試験前には、30回の講義の中でも特に重要と思われる項目に絞り、試験前の学習（復習）意欲を高めるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	やや達成された		

  

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①成績をみると、平均点73.4点であり、再試対象になりそうな学生にはレポートを課して知識理解を補ったことなどから、目的はほぼ達成されたと思われる。②上記の「自己学習記録」における学生の記載内容からも毎回の講義の理解度が大幅確認された。③学生の「学習到達度の自己評価」肯定的回答が24、否定的回答は3であったことから裏付けられた。④「学習準備性」は、予習に対して否定的回答14に対して肯定的回答はわずかに3であった。</p>
--	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は、「専門科目」であるが「専門基礎科目」と「専門応用科目」の両者にまたがる科目である。この役目を果たすべく講義では工夫をしたが、学生も一定の成績を収めているところから内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみた内容的妥当性 「受講動機」等を検討した結果、内容的にも妥当であると考え。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①30回の講義において精神疾患の全般にわたって理解し、治療法の基本を習得させるには、毎回の講義がそれぞれ一応完結することが有用だと考えて実施している。各テーマにより密度の濃さ(量的差異)が生じるのはある程度は仕方がない。そのために、一部に「スピードにムラがある」との意見があるが、許容範囲と考える。②「試験範囲」は講義内容全体である。例年、最終回の講義の際に全講義の中でも特に重要と考えるテーマについて再確認しているが、最小限の勉強で合格最低点を確保したいと考える学生は、このさらに絞り込んだテーマだけを試験前の勉強の対象としていると思われる。通常は、最終講義の1週間後に期末試験日を迎えているが、今回は直後の試験日程となったためこのような意見が出たと考えられる。今後は、最終回に復習としての”特に重要と考えるテーマの再確認”は廃止し、全講義について質問に答える日と変更したい。③「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」を自主課題としたことがあるが、ほとんどの学生は手かずのままであった。今後は、必須課題として提示し確認するような作業が必要かもしれない。④教科書には日本精神保健福祉士養成所協会の編集したものを使用しており、必要十分な情報が記載されている。講義は、まず、その日の対象テーマについてスライドと配布資料を用いて要点を説明したのちに、教科書で細部についても知識を再確認しているが、教科書に下線を引くよう指示(指導)してはいない。それにもかかわらず、一部の学生はひたすらスクリーンに映された箇所の下線部分に同一の線を引く(模写する)作業に機械的に取り組んでいる。あらためて繰り返し教示する必要があると考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①1年半後の国家試験の成績結果で最終的には評価されるが、ほぼ達成されたと考える。②課題としては、以下のようなものが挙げられる。i)如何にすれば、学生たちがシラバスを読んで授業に臨み、授業に集中できるようになるか。ii)学生の要望に応え過ぎると、かえって自動努力の気持ちを殺ぐことにならないかと危惧する。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学概論 I	1	前期	選択	いいえ	90

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉の領域の専門職を目指す学生が、総合的な人間理解の基盤を確立するための1つの学問領域として、心のメカニズムを究明する学問である心理学を学ぶことは極めて重要であると位置づけている。内容的には理論的要素の強い学問領域であり、特に脳の働きと人間の行動との関連に重点が置かれているため、高校までに生物を学んできたかどうかで、学生間の学修準備性は大きく異なると考えられた。従って第1回目の講義において「生物を学んだことがあるかどうか」について口頭で問うたところ、およそ半数の学生が生物を学んできておらず、例年よりやや多い印象を抱いた。そのため脳の働きに入る前にニューロンの役割などを細かく解説し、対応した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成されなかった	やや達成されなかった		やや達成されなかった	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は67.4(±11.0)点であり、最終的に単位を取得できなかった者は10名であった。学生による到達度評価の平均が3.5とやや高めであったが、実際の成績の平均値との間にやや開きがあったのが気になる所である。また例年単位の未習得者は1-2名であるが、今年は約3分の1の学生が未習得であったことも検討の余地があろう。昨年度までの授業内容・評価基準と比較すると、授業内容に関しては大きく変更を加えてはいないものの、評価基準において毎回小レポートを課すようにし、それを数値化していったことで平素の成績が例年より下がったことがその原因の一つとして挙げられる。また復習をほとんど行わなかった者、課題以外の学習に取り組まなかった者の割合が多いことから、今後は講義後の復習を促していくようにしたい。最後に再試験を受験した学生の数名から、「定期試験の実施日が他の科目と重なり、十分に学習できていなかった」との意見が挙げられていたため、次年度の動向も見ながら問題の所在を探っていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉の基礎を学ぶ上での基礎として位置づけられている。学科のCPとも合致すると考えられる。学生も「必修科目である(実際には選択科目であるが)」、「資格取得に必要である」、「関心のある内容である」と考えている者も多いため、内容的妥当性があるものとする。一方DP及び行動目標から検討すると、DP1, DP3ともに十分に達成されているとは言えず、方法的妥当性の問題があると考えられる。先述のように知識理解を向上させるよう復習を促していくこと、毎回提出させている小レポートの位置づけを強調していくことなどで、これらに対応していく。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」の平均値が3.8と比較的高かったことから、講義内容にはさほど問題があったとは考えていない。ただし「口頭、文書など何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が3.2とやや低かったことから、学生の積極的な質問を促す働きかけを行っていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>全体の成績が昨年度までの状況と大きく異なることの原因を次年度以降の状況も鑑みながら探っていく必要がある。講義中の説明は分かりやすいと評価されているものの、教育目標の達成度がそれほど高くないと考えられるため、講義で得た知識を定着させていくための方法を提示していく必要があると考えられる。大人数の講義であり、国家試験や採用試験にかかわる内容も多いため、講義中に質疑応答の時間を設定するには十分な時間を取ることは難しい面もある。したがって個別の相談を積極的に促していく働きかけを行っていく。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	谷川弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学研究法	3	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 基本的な進め方：従前より次の点を配慮している。① 科学的な方法論を学習する機会は少ないため、できるだけ身近な例をあげながら解説する。② 実際の課題を提示し、意見を求めたり、可能な範囲でデータ分析を実施しながら進める。③ 中間テストを実施して、振り返りの機会を提供する。</p> <p>2. 追加したことから：昨年度の自己点検評価において「質的調査、量的調査、実験を中心に内容構成から、福祉実践の効果測定に活かせる準実験、一事例実験、実践研究などに重点を移していくことも検討したい」と述べていた。これに従い、実験研究の解説を減らし、準実験、一事例実験、実践研究について内容を充実させた。</p> <p>3. 学生の準備性に関して：認定心理士コースの独自科目であり、コース必修である。受講動機もそのことを反映しており、関心があるから受講したものは1割とごく少数であった。つまり、単位上やむを得ず履修しているという現状と思われる。真理を追究する学問の意義や役割について、一定の理解を得て行くにはどうすれば良いかを考える必要があることが理解できた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった		やや達成されなかった		

<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. アウトカム評価 中間、期末テスト総合の正答率を観点別に見た場合、下記の通りであった。 DP1-1(教養要素):75%、DP1-2(福祉専門要素):59%、DP3-1(関心):73%、トータル68% 一方、学生の評価は下記の通りであった。 DP1:新たな知識3.7(3.8)、理解の視点3.5(3.5)、DP3意欲:3.3(3.6)、全般(目標達成)3.3(3.6) 以上から、学生の授業評価は学科平均に変わらない範囲と考えられるが、実際の成績では、とくに福祉専門要素、つまり支援過程を対象とするような研究デザインに関する知識理解を伸ばしていくことが求められることが理解できた。</p> <p>2. プロセス評価 学生の予習復習率は半数を下回っており、図書館等の利用もほとんどなかった。中間テストのような、義務的事項以外への学習の動機づけがなされていない。内容的に自発的な学習にいたることは難しい可能性もあり、復習課題を設定することが必要かも知れない。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本学科における心理学の学習の流れの中では、この位置が望ましい。いかに、真実に迫っていくかという科学のプロセスを取り上げた教養的科目があると、本科目もより生きてくるのかも知れない。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>プロセス評価に述べた通り、復習の課題を提示することを検討したい。 なお、学生による授業の質の評価では、とくに「説明は理解しやすいものであった」が低く2.8(3.6)であった。その中でも、期末テストで一定の結果を残しているのは、学生のテストに向けたがんばりの結果であろうと推察する。試験前にキーワード集を渡していることは役立っているのかも知れない。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉領域の支援過程を対象とする研究法の内容を増やしたが、そのアウトカムを中心に目標達成は不十分であったと判断される。履修動機が資格取得に偏り、説明も難しいと評価される状況で、教養的要素、関心については7割を超えるなど一定水準のアウトカムを得ているところについては、中間テストや期末テスト前に配付するキーワード集の効果が推察された。 一方で、日常的な復習やさらなる学習は進んで居らず、復習課題の提示など改善が求められる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉臨床心理演習Ⅱ	3	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>児童領域で用いられることの多いアセスメントツールである新版K式発達検査・田中ビネー-V、WISC-IVに関する講義及び実習を行った。それぞれ理論の説明を行った後、受講者各自が検査者役・被検査者役を取り、検査の施行の仕方・留意点について体験的に学ぶ機会を設けた。被検査者役の学生には、検査中に起こり得る子どもの行動を想定し演じてもらうことで、実践場面に近い場面を設定した。また各検査項目を体験した後に、こどもが検査に回答するにあたり、どの様な能力が関与するのかを考えさせる機会を設け、所見の書き方や読み取り方についての視座を与えるように努力した。全ての受講生が「福祉臨床心理学Ⅰ」を履修しており、心理アセスメントに関する基本的知識を有していたため、実践力を高めることに重点を置いた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	成績の平均値は77.3(±8.0)点であり、単位を取得できなかった者はいなかった。学生の自己評価も「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が3.7、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」が3.6、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」がいずれも3.4と、希望する専門分野についての学びにつながっていると評価していたようである。					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「福祉心理臨床の応用と展開」に位置付けられている。学科のCPとも合致すると考えられる。学生も「資格取得に必要である」と考えているものが多いため、内容的妥当性があるものとする。DP及び行動目標から検討すると、DP1,DP2,DP3,DP4のいずれもその達成度は標準以上であると評価しており、内容的にも方法的にも妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」が3.7、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会がつけられた」が4.0、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」が3.8といずれも高い平均値となった。演習という形態の授業であること、授業の実施にあたって重点を置いてきたことと合致した結果と考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は「福祉心理臨床の専門を学ぶ」ことを目的とした科目として位置づけられているが、学生の到達度評価から、学生自身が将来自分が目指す職業に役立つものと捉えている様子がうかがえた。また成績の平均値も標準的であるため、その教育目標は達成できたと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	谷川弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達臨床心理学演習	4	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本年度のみの交代で担当した科目であり、基本は以前の担当者から引き継いで実施した。全員が認定心理士コースではないため、発達心理学の論文を読んでいくにあたり、研究方法論に関する解説を分かりやすく入れていくなど、配慮するようにした。また、発表を順に済ませていくことで、達成感を味わえるように進めていった。授業評価結果にある7名の受講動機は「資格取得に必要である」43%、「単位数を確保する」29%、「関心のある内容である」29%であり、資格取得が関心を超えていた。そのことも、こうした方向性の妥当性の傍証となると思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. アウトカム評価: 観点別の成績は下記の通りであった。 DP1-1 71%, DP1-2 64%, DP2-1 70%, DP2-2 80%, DP3-1 71%, DP3-2 70%, DP5-1 88%, DP5-2 82% 学生の自己評価は下記の通りであった。 DP1: 新たな知識3.7(4.0)理解の視点3.4(3.6), DP2: 課題検討3.7(3.6)判断3.3(3.6), DP3: 3.4(3.7), DP5: 技術3.3(3.7)表現力4.0(3.7), DP4: 3.1(3.5) 表現力は平均を上回っているが、これは成績評価DP5-1の高さと合致する。 課題としては、論文の理論的背景まで考察すること(DP1-2)が特に弱いことがあげられる。</p> <p>2. プロセス評価 全員が発表する機会があったが、30分以上の予習が0回とした学生が1名いたことは押さえておきたい。 図書館の利用に関して、データベース利用が7名中6名と多かったことは、指導に従って学習が進んだことを示している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の位置づけは問題ないと思われる。単位を揃えるための受講の場合は、準備性と内容の整合性に課題があるように思われた。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>事例の理論的背景については、資料を作成するなど、改善の余地があると思われる。また、上述のプロセス評価に示したように、十分な準備をしないで発表した学生もあり、この場合の事後指導を徹底する必要があると思われた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>目標はやや達成されたという状況であり、当初の動機づけ、準備性に合致した解説資料の補充など、今回の授業法に関しては改善の余地があると考えた。とくに単位を確保するために受講した場合、準備の不十分さを抱えたままでも、参加者の協力でこなすことができたが、生活面の立て直しを図るような指導が必要だったかもしれない。今後の課題としたい。</p>
------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害者心理学	3	前期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>第1回目の授業において、障害と障害のある人に関する知識を把握するために、学生に小レポート(「障害とは?」)を書いてもらった。その結果、障害の概念や障害のある人の心理特性・生活に関するイメージが十分に出来ていない学生も多かったため、それぞれの障害についての定義及び概念の整理を重点的に行った。また、障害があることによって生じる生活上の困難、発達上の諸問題について事例を挙げながら説明し、イメージの具体化を図った。さらに障害者を家族に迎える際、家族と彼らの生活にどのような影響があるのかについて解説することを通して、障害者の包括的な支援の在り方についての視座が得られるよう努力した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は67.8(±6.9)点であり、最終的に単位を取得できなかった者は1名であった。概ね70点台を標準として試験を作成したが、標準的レベルに達した学生が8名と、まだまだ限られていた。学生の評価として「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」の自己評価の平均が3.4と比較的高かったものの、ほとんどの学生が復習や授業以外の学習に取り組んでいないなど、意識が行動に結びついていない所が懸念材料である。推薦図書等を積極的に紹介する等で、自己学習に結びつくように促していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉心理臨床の応用と展開の中に位置づけられている。学科のCPとも合致すると考えられる。学生も「資格取得に必要である」、「関心のある内容である」と考えている者が多いため、内容的妥当性があるものとする。DP及び行動目標から検討すると、DP1やDP3ともに十分に達成されているとは言えず、方法的妥当性の問題があると考えられる。本講義を通して、障害者や彼らの生活、心理特性についての興味関心が高まっているもののそれが行動に結びついていない学生も多いと考えられるため、推薦図書等を積極的に紹介していく。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」という項目の平均値が3.4と比較的高かったことから、講義内容そのものに対する評価はそれほど悪くないと考える。ただし「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」に対する評価が2.8とやや低かったことから、「事例を提示した際に少し考える時間を設ける」、「小レポートを活用するよう促す」等で、これに対応しようと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>成績の平均値が想定していたよりも低かったものの、学生の自己評価の結果から知識の拡充や意欲の向上に一定の貢献をしていると考える。しかしほとんどの学生が復習や授業以外の学習に取り組んでいないなど、意識が行動に結びついていない所があるため、上記の方法等で自己学習に結びつくように促していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉臨床心理学Ⅱ	2	前期	選択	いいえ	43

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講義は、カウンセリングの構造とそのプロセスを総合的に取り扱い、クライアントの状況に合わせたカウンセリングの技法について理解を促すことを目的としている。カウンセリングの諸技法については、社会福祉士の必修科目である「相談援助演習Ⅰ」において学んでいるため、技法そのものについての知識は一定程度はあるものと考えられる。しかしながら、技法の理論的背景や状況に応じた技法の使い方、留意点については相談援助演習Ⅰで網羅することは困難であろうと想定されるため、これらの理解を促していくことに重点を置いて授業を展開した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は74.5(±6.6)で、Sが2名、Aが7名、Bが25名、Cが8名、Dが0名と分布も標準的であった。学生の自己評価も「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値がともに3.7、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」、「職業選択の参考になった」の項目が3.5と、将来自分が目指す職業に役立つものと捉えている様子がうかがえたため、その教育目標は達成できたと評価している。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉心理臨床の応用と展開の中に位置づけられている。学科のCPとも合致すると考えられる。学生も「資格取得に必要である」、「関心のある内容である」と考えている者が多いため、内容的妥当性があるものとする。DP及び行動目標から検討すると、DP1、DP2、DP3、DP5ともにその達成度は標準以上であると評価しており、内容的にも方法的にも妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会がつけられていた」の平均値が2.6と低かった。「事例を提示した際に少し考える時間を設ける」、「小レポートを活用するよう促す」等で、これに対応しようと考えている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は「福祉心理臨床の専門を学ぶ」ことの入口の科目であるが、学生の到達度評価から、学生自身が将来自分が目指す職業に役立つものと捉えている様子がうかがえた。また成績の平均値及び分布も標準的であるため、その教育目標は達成できたと考えられる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	谷川弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
家族心理学演習	4	前期	選択	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 授業の実施方針：昨年度の自己点検評価報告書では、本演習について「(担当科目中)学生のコミットメントがもっとも強い科目であり、発表者の発表内容、その後の議論などは、深いものとなっている」と述べてた。この点は今回の演習を終えても変わらない。演習を進めるにあたり、従来より重視してきた点は次の2点である。①家族の発達過程と直面しがちな課題について最初に学び、家族支援の進め方、最後に家族システム論による理論的な押さえをしていく流れとする。②学生の状況を考慮し、1回の発表分量を調整する。 さらに、本年度は観点別評価の導入にあわせて、アセスメント、事例検討(グループワーク)を新しく加えた。</p> <p>2. 学生の学習準備性：受講動機を見ると、一位「関心のある内容である」67%、二位「資格取得に必要である」「単位数を確保する」共に33%であった。学生の関心の高さが、資格取得や単位の確保を上回っていることは、上述の記述を補強するものと言える。このような学生のニーズに応えられる演習となるよう、毎回の準備において下記に気をつけてきた。①毎回の議論の主題は発表担当の学生が提案するが、教員としても提案できる主題を準備しておく。②話し合いは学生の進め方を尊重するが、必要に応じて、家族療法の技法である円環的質問の方法を準用するなど、演習の主題に関連する技法も用いてシステムの活性化に努める。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成されなかった		やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. アウトカム評価 教員評価による観点別の出来具合を表す指標は、次のような結果であった。 DP1-1:60%, DP1-2:79%, DP2-1:87%, DP2-2:57%, DP3-1:80%, DP3-2:57%, DP5-2:81%, 全体:77% 授業評価アンケートでは下記の様であった。 DP1:新たな知識4.8(4.0)理解の視点4.3(3.6), DP2:課題検討4.0(3.6)判断4.0(3.6), DP3:意欲4.0(3.7), DP5:技術3.5(3.7)表現力4.5(3.7) ①知識理解の獲得、表現(意見表明)については効果が高い、②応用のための判断力を養う、関心を持って調べるといった点では課題が残る、と考えられた。</p> <p>2. プロセス評価 学生の授業評価によると予復習の時間はばらつきがあるが確保されているが、図書館を利用するといった新たな学習には結びついていない。 次年度の演習企画において、これらの点に配慮したい。 主にDP3を活かす形を検討したい。</p> <p>* 下線は学科の平均値</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムマップ上の位置づけに問題なく、認定心理士コースだけでなく、幅広い履修者が得られた点は評価される。一般企業に向かう学生にとっても大切な学びの場となっている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>基本的な枠組みは変更しないが、問題をたて、解決を目指すという形式の演習の時間を増やしていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生の関心の高さに支えられ、知識理解、意見表明の点では効果の高いプログラムを実施出来ている。しかし、より実践的な判断力、関心を持って追求する姿勢に関しては課題が示された。次年度は、こうした点を改善し、さらに充実したプログラムへと展開していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	浅野 嘉延

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
医学総論	2	前期	必修	いいえ	103

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>医学・医療に関する基本的な知識は、福祉の仕事に必要なだけでなく、自分自身の健康管理にも重要です。主要な疾患にポイントを絞って、社会福祉士の国家試験問題にも関連させて、できるだけ簡潔に解説を行いました。授業中に折に触れて、「命の大切さ」にも言及したつもりです。</p> <p>また、授業評価アンケートの受講動機をみると、「必修科目である」「資格取得に必要である」が大多数ですが、「関心のある内容である」もかなりあります。興味をもって授業に臨んでくれたことを嬉しく思います。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験の平均値は80.9点(最高97点)であり、60点未満の再試対象者は3名でした。理想的レベル(80点以上)に到達したひとは66名でした。再試では全員が60点以上であり、最終的に全員が標準レベルには到達したと判断しました。</p> <p>福祉学と直接には関係ない領域にもかかわらず、学生さんの授業態度も良く、期末試験の成績も良好でした。</p> <p>授業評価アンケートの到達度自己評価をみると、知識理解、思考・判断に観点において「まあそうだと思う」以上の達成感を示す回答が大多数です。皆さんが真面目に勉強した表れだと思います。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は福祉学科の「専門教育科目」のうち「保健・医療関係科目」に属します。福祉学と直接には関係ない領域ですが、疾病に関する基本的な知識は福祉の仕事に必要です。社会福祉士の国家試験にも疾病に関する問題が出題されます。</p> <p>学生さんの受講態度、試験の結果、到達度自己評価などからみて、カリキュラムマップ、DP、CPにおける位置づけからみて、内容的妥当性に問題は無いと考えます。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの学習量を見ると、30分程度の予習復習を2回以上行っている学生さんは四分の一程度でした。また、図書館やネットを利用して勉強したひとは1割程度でした。学生さんが興味を持てるような課題と出したり、予習復習のポイントを明示するなどを工夫するべきだったと反省しています。 自由記述では講義内容やスタイルに肯定的な意見がおおく、次年度も同様の形式を継続したいと思います。また、次年度は全講義をひとりの教員が担当して、基礎医学と臨床医学を統一性を持たせて効率よく講義する予定です。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は福祉学科の学生さんにとっては馴染みが薄い内容であったと思いますが、皆さんが興味を持って積極的に取り組んでくれました。多くの学生さんが理想的レベルに、全員が標準的レベルに到達することができました。 看護学科の教員として福祉学科の学生さんに講義が出来たことに感謝しています。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	樋口 善之(非常勤)

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健I	2	前期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたっては、本科目が養護教諭コースを希望する学生が受講していることから、養護教諭として知っておくべき基本的内容を網羅することに努めた。特に、保健学習については、保健管理を専門とする養護教諭にとっても、知っておくべき内容であり、また養護教諭自身が保健学習を担当することも期待されていることから、学習指導要領等の内容についての解説を充実させるようにした。</p> <p>また、授業の準備性を高めるため、開始時に動機付けとして教員採用試験等の状況について説明した。</p> <p>「学修準備性」については、当該資料を受け取っていないため、判断できないが、受講動機を見ると、資格取得と回答したものが35名中31名であり、高い動機が伺えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成されなかった
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、養護教諭になるため基礎的な科目であり、知識理解に重点を置いた。学習到達度の自己評価として、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.3であり、知識理解は達成できたと考えます。また、思考判断・意欲関心についても「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」が4.1点、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」が4.4点であり、学生自身の到達度自己評価としては良い結果出会ったと考えます。</p> <p>一方、技能表現については、講義形式で座学が中心であったことから、達成されたとは言いがたい。学生の自己評価も「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」が3.6点、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」が3.3点と低くなっていた。課題として検討したい。</p> <p>全体を通して、最終的な成績の平均点は68点、再試験対象者が1名となった。60点台の成績の者が多かったことから、全体的な底上げが必要である。授業の予習復習や課題への課題については取り組む姿勢が見られたが、指示された課題以外の学習に取り組むものの割合が、36名中14名と少ない。成績の分布も課題を指示するだけでなく、参考図書などを紹介して、自主的な学びを促していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムとして、本科目は養護教諭を希望する学生が受講する選択科目であり、専門教育科目として位置づけられている。また学校保健を専門的に学ぶ導入的な位置づけであることから、講義の内容としては、基礎的な知識の修得と意欲の醸成に重点を置き、成績評価としても記述式の期末試験を課し、学校保健に関する基礎的な知識と共に、自己の考えを述べる設問内容としている。カリキュラムの位置づけとしての内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について、自由記述を見ると「例などを多く挙げてくれたので、分かりやすい授業でした」「身近なことから、知っておくべき知識までの多くのことを学ぶことができました」「スクリーンを使ったり、たまに参考になるビデオを見せてくれたりしていたのでとても分かりやすかったです。プリントも部分部分で教科書の大切なところをピックアップしてくれていたの、復習もスゴくしやすくて、話も分かりやすかったです」等の肯定的な意見が多く、概ね良好であると考え。一方、授業の課題以外の学習については、「何をしたらいいのか分からなかった」「特に必要ないと思った」等の自由記述があり、積極的に学ぶには至っていないことが伺えることから、参考図書などを紹介して、自主的な学びにつながる授業にしていきたいと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合的評価として、概ね良好であると考え。本講義を担当して2年目となるが、基礎的な理解に重点をおいた。授業の進め方については肯定的な記述が多く見られたことから次年度も継続して授業改善を進めていきたい。一方、基礎的な知識の修得に加え、発言の機会を増やしたり、ブレインストーミングを取り入れたりするなど、前年度よりも双方向的な授業になるよう心がけたが、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」に対して「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」者がみとめられたことは反省点である。また、上記の通り、自主的な学びにつながっていないことも次年度の課題であると考え。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	吉田 あや子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域保健学Ⅱ	4	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職養護教諭一種免許状取得の4年生では必修科目であるため、養護実習の時期と重なり、殆どの授業で全員そろえることができなかった。これは毎年の課題であるので、分かりやすい教科書を使用し、配布資料や授業の進め方を工夫すると共に、さらに養護実習中で欠席する学生には学びにつながる具体的な課題及び学習方法を指導し、またフォローも行ったことで、学生の不安等が解消されたと考える。②アクティブ・ラーニングの授業方法を取り入れ、学生の学びが深まるような工夫を行った。その結果、学生は事例分析役割演技等に積極的な態度で取り組むことができていた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81.4(±6.2)点であり、再試対象は0名であった。履修登録のみの学生を除き全員が標準的レベルに達した。理想的レベル(概ね80点以上として試験を作成)に達したものは17名と高い結果であった。目標別に見ると、知識理解、思考判断・意欲関心・技能表現等のすべてにおいて80%以上であった。思考判断では、与えられた課題を解決する際に知識をどのように応用するかについては事例分析や事例のロールプレイ等で役割を演じたり観察者として参加することで知識を応用する力・表現する力が身についたと考える。また、昨年度までと同様、学びを深めるために授業の最後に各自の学習カードに記入することとした。このカードから授業に対する興味・関心・意欲が高くなるとともに取り組みの姿勢・態度及び表現力等が日々の積み重ねで培われたと考える。ただし、最後に連続して欠席した学生については上記の達成が容易ではないことが試験等で明らかとなった。教員採用試験の対策については授業の中でも行っているが、時間の制約があるため、別途時間を設けて実施した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門応用科目」であり、教職資格に必修であるため、基礎理論を踏まえた上で、養護教諭の実践につながるように演習を組み入れている。学生も熱心に取り組むことができたことから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 定期試験、課題学習、レポート等の成績評価から知識理解・思考判断・意欲関心・技能表現・態度等すべてにおいて高い結果であったことから、内容的には妥当であったと考える。 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の意見として、試験対策や事例にもっと取り組みたいとの1名の意見があったが、他の学生は「ロールプレイを通してじっくりと事例について考えることができた。」「養護教諭の心得や子どもへの対応のしかたを学ぶことができた。」との意見もあった。採用試験を意識して授業の中で関連する内容を取り上げて実施したが、授業時間制限がある中では十分に時間を取るのは難しいと考える。事例については基本的な理論の説明及び応用演習等でも事例分析、ロールプレイなどをかなり組み入れたことから、学生の興味関心が深まったからの意見とも考えるが、さらに次年度も演習等で体験できる機会を増やしたいと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>地域保健学Ⅱ「養護教諭が行う健康相談の理論と方法」は、養護教諭専門の必修科目としての位置づけから基礎的理論と方法を理解したうえで、実戦に力に向けての技術等を修得するものであるが、成績評価等から概ね達成できたと考える。昨年は予習に取り組めない学生がみられたので、本年度は事前に学習課題及びねらいを具体的に示すようにした。 授業過程を振り返ってみたとき、アクティブ・ラーニングの授業を行ったことがよい結果であったので、次年度も展開できるようにしていきたい。 また、学生の意見は取り入れ、来年度に改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

学科	福祉
氏名	原 百合

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎看護技術	3	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭資格取得のために必須の科目である。学生の受講動機を見ると「資格取得に必要である」91.7%、「必修科目である」37.5%となっており、資格取得に向けた意識が高いことが推察できる。授業内容は、教員(養護教諭)採用試験問題を確認し、その内容に関連するものを取り入れた。また、学校現場で起こりうる健康上の問題については身体面に絞って、理論に基づいた対処方法が理解できるよう考慮した。</p> <p>②本科目は既習の医療系の知識に基づいた内容となっているが、解剖・生理学の知識が身に付いていない学生がほとんどであることを予測し、1回目の授業で学生の解剖・生理学の知識について、学習準備状況を知るため、および復習を兼ねて、また、授業内容の理解を円滑にするためという目的で、授業内容に関連する部分に限定したレポートを課した。</p> <p>③授業には、看護技術を実施するための理論を20～30分程度の講義として取り入れ、演習で技術の習得を目指した。</p> <p>④授業内容の理解が得られるよう、毎回のオリエンテーション資料に次回の内容についての教科書の該当部分を示し、事前学習することを勧奨した。</p> <p>⑤毎回の授業内容で、量が多い時とそうでないときがあるため、量が少ない回に関連性を損なわないようにして配分するよう計画した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>総合点の平均値は77.5(±6.6)点で、再試対象者は0名であった。全員が標準的レベルには達したが、理想的レベルに達した学生は7名(25%)で、少ない状態である。</p> <p>知識理解と思考判断は筆記試験で確認し、平均値は35.9(±4.9)点(50点満点)であったが、5名(17.9%)の学生が標準的レベルに達していなかった。技能表現は看護技術の実技試験で確認し、平均値は25.3(±2.5)点(30点満点)で全員が標準的レベルに達した。また、理想的レベルに達した学生は21名(75%)であった。意欲関心と態度は、16.4(±3.4)点(合わせて20点満点)であった。</p> <p>学生の到達度自己評価では、知識の確認や修正・新たに得ることと学びを深めたいという意欲については、全員が「まあまあそうだと思う」～「かなりそうだと思う」の範囲で答えているが、学習量の評価では、予習について0回および1回と答えた学生が合わせて10名(35.7%)おり、知識をつけることの重要性がわかっていないものと考えられる。必要となる技術を身に付けることについては、全員が「まあまあそうだと思う」～「かなりそうだと思う」と答えていることと、前述の実技試験の成績から、本科目の目標である技術の習得は一定のレベルとして達成できたと評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容妥当性 本科目は、養護教諭一種免許状取得のために必要な「保健・医療関係科目」の一つであり、養護教諭一種免許状取得希望者のみが受講できる科目となっている。また、3年次後期からの開講である「看護臨床実習」を受講するために必要な要件となっている。学生の受講動機からは、資格取得に必要であることの意識が高いことが示されており、総合的な成績が全員標準レベルに到達していることから、内容的には妥当と考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容妥当性 知識と判断を問う筆記試験の成績で、標準的レベルに達していない学生がいたことから、内容の重要性が学生に伝わっていない可能性があり、次年度に向けて方法検討の必要がある。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性として授業の進め方の問題があり、次年度に向けて検討する必要がある。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の自由記述には、「説明のスピードが速すぎてついていけなかった」という意見が1件あった。現場に必要な技術は数多いことと、1コマの中に講義と演習を入れていて時間で時間に余裕がないため、スピードが速い状況になっている。講義の内容を見直し、厳選して時間に余裕を持たせていきたい。また、知識理解と思考判断で標準的レベルに達していない学生がいたことから、重要な部分について意識を持たせるように強調するなど、講義方法を工夫していきたい。</p> <p>レポートに関して、期限内に提出することも評価に入ることをオリエンテーション時に説明したが、数名の学生が提出が遅れる状況であった。「授業の質の評価」で、テスト・レポート・提出物などの評価基準について、「わりにそうだと思う」以上よりも「まあまあそうだと思う」と答えた学生の方が多いことから、レポートの評価について理解していないと思われるため、レポートを課す時点で再度説明し、期限内の提出を促したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状取得のために必要な保健・医療関係科目という位置付けである。総合的な成績としては標準的レベルに達しており、技術面の成績は理想的レベルに達した学生が多かったが、知識・判断の面では課題が残った。3年次後期からの「看護臨床実習」に引き継ぎ、看護技術に関連する知識の充実に継続させたい。</p> <p>次年度に向けての課題は、予習の必要性の説明や内容の重要な部分を強調することで知識理解と思考判断が身に付けられるようにすること、講義の内容を見直して時間に余裕を持たせるなど授業の進め方の工夫が必要であること、評価基準の十分な説明が必要なことである。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護臨床実習	4	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、養護教諭の免許取得に必要な科目であり、取得を目指している学生が受講するため、授業に対する意識が非常に高いことが特徴である。また、今期は、3年後期の病院実習を終えた振り返りと学内演習であるため、授業計画については、3年後期の受講生達の理解度や関心の方向性が分かたうえで立てることができたため、受講生達にとっても、また、講義する者にとってもやりやすい状況であった。学生達の自由記載に「知識・考える力を養いました」という記述がみられた。この科目が今まで受講した医学看護系科目の知識技術の統合科目であることを十分理解できている記述であると思われる。しかし、この科目がスタートする3年後期に学生達の意識が統合科目であることを十分理解できていたかといえ、不十分であったと振り返る。次年度は、カリキュラムツリーも用いた科目の位置づけを示し、既習科目との関連性を明らかにしたうえで授業を進めていきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された

  

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価においてDP4がやや低い数値であったが、DP4については3年後期に実施する病院実習の事後面接・口頭試問において学生の言葉から養護教諭としての姿勢に関しての発言は各自複数回見られた。今回の授業評価は、自由記載を見る限り、4年前期の内容に集約している感があり、4年後期の授業内容からみると、DP4の領域は手薄であったと思われる。授業において、明確な課題を提示し学生に課したことはなかった。しかし、授業評価における図書館の利用度や自由記載の内容を読むと、学生自ら調べ学習により授業内容をより深く、より広く知識技術を身につけようとしている姿が見られた。学生の目標達成は、授業時間内での学修だけでなく、課外の取り組みもあってこの科目の目標達成充実感を得たのではないかと考えられる。</p>
---	--

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習を含む科目であるため、トータル的な力が必要であると思っている。そのため、DP1については、全てを網羅すべきであり、このことを意識し授業・実習を進めている。学生達の学習到達度の自己評価の結果を見ても、万遍なくとらえることができていると評価でき、DP・カリキュラムマップの内容的妥当性としては適性であると判断している。学生の自由記述においても「頭の中では理解していても実際にやらなければ教育現場では活かさないことをたくさん学んだのでとても為になりました」という記述がある。学生も知識だけでなく技術や養護教諭としての倫理観等トータル的に身につける科目であると本科目の位置づけをしていることがわかり、学生と教員の方向性が同じであるといえる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>この科目の後半である4年前期は、教育実習や教員採用試験が行われるもしくは、直前に控えている時期であり、学生達の意識はかなり高い。そのため、演習も真剣におこないその間に発せられる質問も質が高いものが多い。授業を進めるにあたって、技術そのものは指導するが、演習が進むにつれて学生主導に自然となり、学生の求める方向性で授業が進んでいった。そのことが学生の自由記載にあるように「学びを深めるとともに自分に自信を持てるようになりました」という記述になったのだと思われる。学生の自由記述にある「現実的に考えられる具体的な説明で、とても身近に感じられたので大変真剣に取り組むことができました」とあるが、演習においては、現場を見据えた指導を心がけてはいるものの、学生が教育実習前であると、教員が説明している時に頭にある児童生徒の姿が必ずしも学生達と共有できているかと言えば、出来ていないことが多かったように思う。教育実習が終了したのちに行う演習と明らかに反応が異なることは毎年感じるところである。次年度は、教育実習にも生かせるよう、教育実習前から児童生徒の姿をイメージしやすいよう、工夫していこうと思っている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業開始前から、学生の意識は高いため、授業評価の各項目や自由記載においても学生の満足度はかなり高いように見える。1つは、この科目の後半である4年前期の演習内容は養護診断のロールプレイ以外は学生のニーズを中心に内容を決め授業を進めたことが影響していると考えられる。学生のニーズに応え実施することは学生の学修意欲を掻き立て、本科目で掲げている目標を達成することができるが、元来、学生の知り得ている現場は限られているため、学生のニーズだけでは実際に教育現場に出たときに不足するものもあると思われる。今後は、学生のニーズも大切にしながら、学生が不足している知識技術に注目し、演習内容をブラッシュアップしていきたいと思っている。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	小橋 清

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公衆衛生学	3	前期	選択	いいえ	34

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必修科目でないにもかかわらず、資格取得に必要であると答えた学生は86.7%であった。公衆衛生学で何を学ぶのかを理解している証左であると考えられる。単に、知識の伝達に留まらず、就職後に直ちに役に立つ、「日々の事象、事件、公衆衛生問題」に関心をもって、テキストの内容に修正を加える学習を心がけることが、最も、教授したい事柄であることを強調した。教科書の内容は2年前の事象であり、就職時には公衆衛生の実態(特に福祉行政や福祉・保険制度など)は変化している。常に勉強と、情報の更新を、生涯かけて行っていくことが肝要である。「大学生の間に生涯学習を行なっていく態度を身につける事が大学で学ぶ最も大切なことである。」という事を強調した。それがどれくらいできるようになったかが指標と思われる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均点は、86.87点であった。授業態度も良く、視線や、表情で理解度が高いと感じていた。学生による、評価を見ると、(1)～(3)は、「まあまあと思う」と答えた者が、17～19人で多数であったが、(3)～(4)は、「少し そうでもないと思う」と答えた者が、17人であった。総括評価の欄にも記載するが、公衆衛生学全般に渡る講義を15回で完了させることは不可能である。基礎学である疫学や統計学に絞って大学院的な教授を行う方法もあるが、国家試験を念頭に置くと、薄く、広く、超特急での講義に終始するのはやむを得ない宿命と思われる。当初計画でも、(4)～(5)を念頭に置いた授業進行は考えていない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>公衆衛生は実践科学であり、15回の座学で、DP3の意欲・関心の琴線に触れる授業を進行することは不可能である。毎回、伝授すべき知識と情報を、矢継ぎ早に、一方的に講義する傾向となるのは止むを得ない選択である。少しでも、公衆衛生学界人としての素養を伝授したいと願って、WHO情報、厚生省情報、感染症ネットワーク情報等を配布し、熱く語りかけてきたつもりであるが、なかなか、座学での講義では、意欲・関心の高揚を図ることは困難である。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>教科書に書かれている内容を理解させることに重点を置き、一方的な説明に終始する傾向となる。時に質問すれば、答えられないか、間違った回答が返ってきたが、引き続き、その話題を引きずり、追及して論議を深めることは、授業進行上できなかった。インターネット情報、専門学術情報は毎回示し、コピーを配布し、新聞情報との関連性、教科書記述事項との関連性に言及する解説を行なった。そのことで、教科書記述内容の理解を深めさせたいと務めた。しかし、学習は受動的であり、自らネット検索したり、図書館で調査するなどの意欲的な学習態度は育てるに至っていない様である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>公衆衛生学を、2単位、15回で習得させることは不可能である。以前から、提案してきたが公衆衛生学は、4単位、30回の授業で行う必要があると思われます。止むを得ず、基礎学である、疫学や統計学の講義に重点を置くこととなるが、公衆衛生は、生き物である。日々変化している。就職後に最も大切な知識は、本当は保健福祉行政や保健福祉制度の話であろう。これも、日々、変化しているし、今後も永久的に進化する、変化する学問領域である。最も、学生に学ばせることは、今ある知識の暗記ではなくて、日々変化する状況を理解し、その変化に対応できる実践力を身に付ける事である。大学は教える内容を受動的に覚える程度にとどまってはならない。自己研鑽を怠らず、情報を更新し、生涯学習を日常的に習慣化できる能力を身に付けさせることであろうと考えています。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	上村真生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育原理	1	前期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施に当たり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、9割の学生の動機がそれに該当する。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として全体平均85.0点(最高点95点、最低点80点、S:5人、A:9人)であり、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても「職業倫理や行動規範」に関する項目以外は平均値が4.1点を切る項目は無く、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。「職業倫理や行動規範」については、平均値が3.9点と決して低くはない上に、後期開講の「保育者論」において中心的に扱う旨をアナウンスしたため、若干結果が低くなっていると考えられる。専門職としての原理原則に関する知識理解を深める科目であり、成績評価が高いことから目標は達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士としての原理原則に関する知識教授を第一義とする講義系科目であることから、DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけは妥当なものであると考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>受講人数が14人ということもあり、比較的時間的な余裕を持って授業を進行できると共に、学生の反応を確認しながら授業を進行できることが、高い成績評価につながっていると考えます。受講人数が増えた場合に、現在と同じ水準の理解度を得るためには、教授方法においても見直しが必要であると考えます。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考えます。受講人数増加の際の対策の検討が必要である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	田中沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
子どもの保健Ⅱ	3	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○				○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格取得に必要な科目のため、開講時には学生全員がそのつもりで臨んいたと考える。しかし、途中で資格取得を諦めた学生がいるという報告を受けたことから、授業評価上は資格取得以外を選択している学生が若干存在している。</p> <p>②資格取得に必要な科目のため、「最低限必要な知識・技術」は全員獲得できるようにし、さらに興味関心が高い学生にも知的好奇心を満たすよう授業内容を構成した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないため、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」についても9割以上が達成できたと考えており、成績評価においても平均88.8点以上とほぼ全員が意欲的に学習に取り組み、目標達成に向けて努力したと考えられる。「学習量の評価」こそ予習・復習したのは授業回数全体の半分程度であるが、「図書館利用」からも分かる通り、幅広いソースから学習の準備をしていたことと判断でき、成績評価につながっていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、内容的には、「子どもの保健Ⅰ」を踏まえた上での発展的な内容であるため、高学年で実習前に行くべき専門科目である。よって、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>成績評価においても、「授業の質評価」においても授業の進め方については問題ないとする。毎回、授業開始時に前回授業の確認テストを実施したが、授業評価アンケートの自由記述から、確認テストの学習が授業の復習として役立っていたことが窺える。一方で、学生の理解度は年度によっても大きく違うため、教授内容は同じでも教授方法・進捗については学生の実態に沿って臨機応変に対応する方が学習効果は高いと考える。そのため、保育所に向かいの観察、演習を踏まえての講義を試みたが実施が叶わなかった。学生の実態に即した授業進行中における教授方法の裁量について、授業実施中の変更ができるようなシラバスの書き方を工夫したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標としている本科目で、事前に提示した評価基準に基づく採点で、学生の成績が100点:4人、90点台:7人、80点台:9人、79点:3人の平均点88.8点というのは、学生が目標達成に向け取り組んだ結果であり、概ね目標は達成できたとする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	谷川弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学Ⅱ	3	前期	選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 基本的方向性に関する課題： 保育の心理学Ⅰでの学びを受け、より実践的な課題を多く取り入れて、子ども理解と保育の理解を進められるように展開してきた。とくに、子どもの行動観察(VT R)、子どもへの遊びの提供(実技)という課題を提供することで学生の動機づけを高める努力をしてきた。しかし、事後の授業評価での受講動機をみると、多くが「資格取得に必要である(80%)」「必修科目である(45%)」であって、「関心のある内容である」は0%であった。その後の学生の学習状況を見ると、課題一つ一つについての関与は主體的と判断されるが、最初の動機づけのあり方から再検討をして行かなければならないことが理解出来た。 2. 今年の新規方針： シラバス改定による観点別評価の導入により、課題が大幅に増加した(レポート5本、行動観察、遊びの計画と実施、保育の質保障、子育て支援、最終の発表)。以上をこなすために、初回のオリエンテーションで課題全てを提示し、学生が計画的に取り組める様にした。また、前年度の反省からは、行動観察の教材を増やしていくこととしていたが、実際に増やすことが出来た。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 &lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. アウトカム評価： 採点結果は下記の通りであった。 DP1-2:70%, DP2-1:65%, DP2-2:70%, DP3-1:60%, DP3-2:60%, DP4-3:87%, DP5-2:73% 一方、学生の授業評価は下記の通りであった。 DP1:新たな知識3.4(3.8)理解の視点3.3(3.5)、DP2:課題検討3.2(3.5)判断3.1(3.4)、DP3:3.2(3.6)、DP5:技術2.8(3.4)表現力2.9(3.0)、DP4:2.8(3.3) 学生と成績評価が一致して低いところはDP3興味関心に関するところである。また、学生の自己評価として学科平均より5以上低い領域として、技術、行動規範があげられるが、ここは成績評価は低くない。これは、主に学生と教員のもつ評価基準の違いと考えられる。 たとえば、学生達は、子どもと遊ぶということでは多くの課題と向き合わざるを得ないため、技術の領域の自己評価が低くなっているのではないだろうか。また、切りを守るといったことが必ずしも出来ていなかったところがある。 以上からは、遊びなどの技術的要素に一定の達成感を味わえるようなプログラムを作成する、課題の量を調整するといった作業が必要と思われた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。  &lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実際に子どもと出会う課題があるため、現場で要求される責任と同等のものを求めている点は、学生には厳しく感じる点があると思われる。しかし、これは学年進行の問題というよりも、社会人としての問題であると考えている。この点は、このあとの学修にどう影響したかから判断すべき事項であるが、現段階で必要な情報をもっていない。今後の課題としたい。 なお、受講動機を高めるためには、保育の心理学Ⅰで、具体的な案内をしておくべきであろう。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の評価は、教員の説明が難しい、話し合いの機会が多いという結果であった。説明の難しさについては、学生との今後のやり取りの中で、難しいという感覚の 実体を把握していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>目標はやや達成されたという状況であり、学生の受講動機の上昇、学生の達成感を引き出すためのスキル評価の導入、内容の精選などを進めていく必要性が明らかとなった。</p>
------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	上村真生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育課程論	3	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		○	○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、8割の学生の動機がそれに該当する。残りの2割についても、開講時には資格取得を目指しており、途中で資格取得を断念したため、授業評価上は「単位数確保」と回答しているが、基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	やや達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として全体平均79.3点(最高点95点、最低点70点、S:3人、A:13人、B:7人)であり、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても平均値が3点を切る項目は無く、図書館やインターネットは9割以上の学生が学習に利用しており、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。授業中のプレゼンテーションについて、グループによっては、内容が十分でないグループが若干あり、やり直し等も行った。そのため、「意欲・関心」については、完全に「達成された」とは言えないが、大半のグループは質の高い発表ができていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に中・長期の保育計画について理解し、立案ができるようになることが最大の目標であることから、関連DPについては妥当であるとする。また、保育計画立案のためには、乳幼児の発達について理解していることが前提となる上に、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>長期計画の立案に関しては、基礎的な知識の教授後に実演を交えての課題として設定していたが、学生からの質問が非常に多く、講義の中で実演を予定より増やして提示を行った。結果として、学生の理解が進んだと考えられるが、来年度からは、さらに長時間の確保が必要と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>特に長期計画立案については、長期に渡る家庭学習が必要であることから、授業評価アンケートの自由記述においても時間的な余裕の無さが多数確認された。とは言え、保育士資格取得の上で特に4年制の保育士養成ということを踏まえると、就職後必ず必要となる内容であるため、教授内容を変更するわけにはいかない。また、時間的な余裕の無さについては意見が寄せられたが、先述のように成績評価上は概ね良好であるため、問題ないとする。今年度も学期当初から、家庭学習が長時間必要になるという説明はしていたが、来年度はさらに強調して説明する必要があると考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	上村眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 総論	4	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、8割の学生の動機がそれに該当する。残りの2割については「関心のある内容」であるとなっているが、開講時には資格取得を目指しており、途中で資格取得を断念したためであると考えられる。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業準備においては、専門職として最低限必要な内容は必ず盛り込むことと、事例提示や取り上げるトピックについて受講学年の興味・関心に沿ったものを準備するようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として全体平均84.3点(最高点95点、最低点70点、S:13人、A:7人、B:3人)であり、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても平均値が3.3点を切る項目は無く、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。ディスカッションのための資料についても全学生が毎回準備できており、必ず全学生からの発言がなされていた。「資格取得に必要な科目」でありながら、意欲関心が非常に高く、主体的な学びの様子が確認された。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、保育内容におけるまとめとなる科目のため、関連DPについては妥当であると考えられる。また、保育内容の各論を踏まえ実習後に総合的に保育内容について理解する科目として位置付けていることから、CP、カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業への取り組み、授業内のディスカッションの内容、成績評価を踏まえて、授業の進め方は概ね問題ないとする。「図書館利用」において、図書館よりもインターネットを利用した資料収集が多かったが、ディスカッションのテーマが「時事問題」を多く扱ったこともあり、書籍では資料の収集が困難であったことが推察される。テーマについては再考する必要があるのと、指定図書等で時事問題にも対応できる資料を準備しておく必要がある。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。授業進行については、ディスカッションのテーマ提示等に工夫が必要であるとする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	上村真生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容 環境	3	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		○	○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、7割以上の学生の動機がそれに該当する。また、開講時には資格取得を目指しており、途中で資格取得を断念したため、授業評価上は「単位数確保」と回答しているが、基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないことと、演習内容として栽培活動があるため、その点については変更しようがない。その他の教授内容については、本年度から事例提示だけでなく視聴覚教材を交えての教授を試みた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として全体平均81.1点(最高点95点、S:4人、A:15人、B:3人、C:1人)であり、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても平均値が3.6点以上であり、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。学生の経験として、授業内の「栽培活動」が普段経験していない内容であることから、印象に残ったと考えられ授業評価アンケートの自由記述に関連する内容が挙がっているが、栽培活動以外の授業内容や課題についても意欲的に取り組んでおり、課題の提出状況、内容の質も例年に比べ高く、2～3名を除いて高い評価点数をつけた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育内容に深くかわる科目であると同時に具体的に「栽培すること」や「作成すること」といった課題があることから、関連DPについては妥当であると考えている。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP、カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であると考えている。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は概ね問題ないと考えている。本年度採用した視聴覚教材については、一部学生に居眠りが見られたことから、昨年までの通り、事例の紹介と限定的な使用が効果的であると考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。授業進行については、年度の学生の状況を踏まえて、資料提示等に工夫が必要であるとする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	川原富紀枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護内容	4	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>家庭で暮らせない子どもへの社会的養護と言うだけで暗い・重いイメージがあるようで、関心度の低い科目である。実際に受講動機で見ると「必須科目である」84.2%、「資格取得に必要である」68.4%この双方の数値にも開きはあるが、「関心のある内容である」10.5%と関心度はかなり低い。実例をもとにできるだけ具体的な事例を挙げて興味を引き付け、関心を持ってもらえるようにDVDや子どもたちの作文や詩など紹介しながら授業をしている。また、模擬施設を作り施設の説明をしたり養護計画を発表したりと学生主導で予復習をSNSに投稿したが、確認準備状況の確認をしなかった。今後、中途での学習状況を確認するようしていきたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は76点であり再試験対象者は1名であった。理想的レベル(概ね80点)に達した学生は8名で全体の35%と限られていた。目標別に見ると知識理解に関しては79%、思考判断に関しても75%、さらに意欲関心に至っても70%、技能表現に関しても77%、態度は70%といずれも70%台であった。数値的には「やや達成された」といえるのかもしれない。また、学生による到達度自己評価の平均値が3.3～3.6、授業の質評価においても、各項目の平均値が3.3～4.0の平均値であった。しかし、再試験対象者の1名は知識理解の観点からも、思考・判断、の観点からも問題があり、意欲関心、態度等が低かったため再試験とした。しかし、学習量の評価では予復習を全くしなかった学生が半数を占め、自発的学習に至っては取り組んだ学生が2名と少ない。自由記述の参照では学習しなかった理由が、他の教科が忙しかったとある。7～8コマ目での学習準備状況の確認を実施することで、学生の予復習への意識を高めていくことにし、取り組む事例や討議する課題についてもさらに検討して進めたい。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上における本科目の位置づけからみての内容的妥当性としては、受講動機でも挙げて来たように84.2%の学生が必須科目でもあるとしている。また、保育士と言う資格取得のための必要性としての学生も受講していることから、位置づけ、動機づけの一つとしている。こうした課題に応えるためにも授業の内容を工夫し、学生も一定の成績を収めていることから、内容的妥当性はあると思われる。</p> <p>②DP行動目標からみての内容的妥当性としては、成績評価から考えると70%台ではあるものの意欲・関心や態度の達成度は1割近く低かった。これらに関しては見なおしながら来年度の課題として挙げ内容を修正していきたいと思う。その他の領域に関しては「やや達成された」領域ではあるが理想的レベルまであと一歩といったところであると思われることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上のことから、進め方等に課題は少し残してはいるが、内容的妥当性は問題ないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」とする項目の平均値が3.7と中央値(4.0)よりやや低かった。はじめは質問票等配り応える機会や、授業の終わりに聞く機会は持ったが、質問が出ないことの方が多かった。しかし、自分の意見をまとめ、話し合い発表する場の方が質問が挙がってくるが多かった。そうした機会を増やしていくことにした。しかし「学習量の評価」では、シラバスでも予復習の学習課題を表記したにもかかわらず「0回」が50%を占め、自発的学習にいたっては、推薦した映画などを見て感想を述べてくれた学生もいる半面、75%がしていないと答えている。その理由として他の教科が忙しかったからの意見。もっと関心度を上げていくことが求められていると感じた。「情報の利用」でもシラバスを参考にしたとする学生が20%と低く、計画立案もしていないこと、図書館利用も13%と低い。教科書のみで学習していたともとれるが、シラバスの説明を纏めて初日にするだけでなく、予復習の事例に関しても事前に提示し検討を加えて授業に参加するように促していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>基礎的知識の形成は教科書で概ね達成できたとしても、標準的なレベルを脱し得ず、理想的なレベルまでには達しない。まずは授業の最初に学習準備状況の確認アンケートを実施し、7～8コマ目には確認テストを行い学生への予復習への意識を高め学習状況を確認するようにする。また、シラバスに沿ってテキストはテストとして利用もしながら、各回のテーマと具体的な実際の事例にあわせた情報についても提示し、図書館・インターネット等の利用をその都度促していきたい。また、実際の子どもたちの明るく、元気に生活している姿などDVDで観たり、子どもたちの作文や詩を紹介する中で興味や関心を持って授業に参加できるように組みたい。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	文屋典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育相談支援	4	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「資格取得に必要である」が72%であり、「関心のある内容である」は11.1%にとどまった。演習科目であるため、保育士が保育相談支援を行う意義と科目開設が必要となった社会的現状を十分に理解することによって受講者のモチベーションを高めるよう努めた。また、この領域への関心が高まるよう、様々な事例を用いるなどの工夫を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生による到達度自己評価によると、各項目間で大きな差は見られないが、「自分が学ぼうとしている専門分野について、的確に判断する力を得ることができた」において、やや高い評価が得られた。グループワークなどを通して、各自が子どもと家庭をめぐる様々な状況に問題意識をもち、多角的に状況をとらえたり、支援方法について考察したこと、グループでの話し合いにおいて他者の意見に安易に同調せず、自分と異なる意見も受け入れることを重視して進めたことが結びついたと考える。</p> <p>学習量の評価においては、大半の学生が与えられた課題をこなすことに終始している状況がみられるので、来年度以降は自発的学習に結びつくような工夫について検討していく必要がある。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士養成指定科目の中の演習科目であり、「思考判断」と「意欲関心」に関する達成を目標とし、学生も一定の達成度に到達したことから内容的には妥当であると考えます。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が4.4と高い値となった。グループでの話し合いにおいて他者の意見に安易に同調せず、自分と異なる意見も受け入れることを重視して進めたことが結びついたと考える。しかし、「学習量の評価」において課題が残っているため、課題達成のための学習計画を立てられるよう工夫することなど、改善を行っていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>これまでの専門科目での学びを総括しつつ、他者の意見を聞きながら自分自身の意見を明確にもつこと、様々な視点から考えることを経験しながら的確に判断する力を養うことに重点をおきながら演習の質を高めていくことを今後もめざす。また、新たな知識や関心をもつことに学生が意欲をもてるような科目としていけるよう、自発的学習の評価や図書館利用に関する評価においてその成果が問われると考えられることから、この点においての改善・向上をめざしていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の表現技術 I	1	前期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ピアノ経験の有無に差があるため、ひとりひとりの能力に適した指導を心掛けた。また、学生の学習内容を確認できるよう「レッスンシート」を作成し、毎回チェックすることで、適切に助言できるよう工夫した。学生自身、目標を達成するために学習準備を怠らなかったと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>音楽理論の筆記試験の平均点が87点であり、再試対象者は1名であった。理想的レベルに達したものは12人中12人であり(理想的レベルを80点に設定、ほぼ全員が理想レベルに達した。講義の最初に授業のねらい、達成すべきことを学生に具体的に提示した。学生による授業評価において、「自分なりの目標を達成した」の項目平均値が4.2点であった。以上より、この授業の教育目標はほぼ達成されたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この講義は保育士に必要な知識および技術習得のための科目である。資格取得に必要な科目であることが主な「受講動機」であり、「意欲をもつことができた」および「技術を身に付けることができた」の項目についての平均値は、前者は4.5点、後者は4.7点であった。以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>音楽理論においては、あらかじめ試験範囲を明確にし、毎回学習課題を具体的に提示することで、学生が学習しやすいよう配慮した。「授業の質評価」の全項目が平均値4以上であった。次年度は、より授業内容を深め、質の向上を図りたい。ピアノ技術においては、個人レッスンの時間を多く配分した。その結果、各自ピアノ技術の向上がみられた。後期では、引き続ききめ細かい指導を心掛けたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目において、DP技能表現については、達成できた。次年度も授業の質の向上を図り、ひとりひとりの能力に応じて、より高い技能表現を身に付けるための指導を行う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	上村眞生・稲木光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の表現技術Ⅲ	2	前期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○		○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、8割以上の学生の動機がそれに該当科目である。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。保育技術に関する教授内容であるが、普段経験しない運動指導の印象が強く、授業評価の自由記述からもうかがえる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として全体平均81.1点(最高点90点、最低点73点、S:1人、A:12人、B:15人)であり、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても平均値が3.5点以上であり、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。演習の中でも特に保育の表現技術に関する実技系科目であることから、目標達成度は高いもの、学習時間や図書館等の利用は少ないことが窺える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育技術に関する内容の教授であることから、関連DPについては妥当であるとする。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP、カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は概ね問題ないと考えている。実演形式で保育の表現技術について教授したが、授業外の学習時間が著しく少ないことから、学習時間確保のための課題提示が必要であると考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。授業進行については、知識と技術の融合のための課題提示が必要であると考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	上村眞生・山根正夫・文屋典子・金谷めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育実習指導 I			選択	いいえ	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、約8割の学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うというよりは、必然的に受講している科目である。</p> <p>学生の受講動機に関わらず、保育実習に行くための準備科目であるため、社会人としての基礎的なマナーから実習に必要な書類作成、実習の心がけ、基本的な保育技術について教授する準備を整えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として全体平均77.3点(最高点90点、最低点68点、S:2人、A:8人、B:8人、C:3人、一名辞退)であり、全体的な教育目標は達成できたと考える。学生の「到達度自己評価」においても平均値が3.7点以上であり、学生の主観的な達成度も概ね高いと考える。保育実習後の施設からの評価、日誌をはじめとする書類においても成績評価Cの3名を除いて、良好であった。成績評価Cの3名については、その後個別に指導した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学内の学びを総合的に実践の場で学ぶ機会であるため、上級学年での開講の必要がある。その点を踏まえて、DP, CP, カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であるとする。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>実習に行くために必要な知識・技術を身につけるための科目であるため、必要な教授内容を系統的に配置し、進行した。講義だけでは、学生の理解に差が出るため、学習進度に合わせて4名の教員で授業時間外に個別に対応し、全体の授業進行を均一に保った。しかし、基本的な文章能力といった点については、学生間の差が大きく、次年度以降は基礎学力差に対する対応についても検討の必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>実習先からの評価、成績評価から概ね教育目標は達成できていると考える。学生の学力差に対する対応が今後の課題である。</p>
------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	古川敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	89

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①「学生の授業評価アンケート」により受講生を見ると、受講動機としては「必須科目である」ことが100%であり、「単位数を確保する」ためが11%であって、他の動機は「関心のある内容である」を含めすべて4%未満であった。ほとんどがキリスト教に初めて接する状態であったことから、授業は受講準備性のレベルが低いところから始める必要があった。学習動機向上対策として、第1に建学の精神である「感恩奉仕」との関係と目的を最初に明示した。具体的には、総合人間科学の科目として、専門分野の科学の基盤となる重要な「自己理解」と「人間性」に関わる科学であることを説明した。第2に、評価基準を明示した。授業の質評価を見ると、&lt;評価基準は明らかであった&gt;の項目で肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「17、32、34」で96.51%であり、否定的回答の「少し」「全く」は「3、0」であって3.5%あった。</p> <p>②「学生の質問を受け付け、それに答える機会」としては、授業毎に、受講者が「自分の考え、感想、調べたいこと等」を記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業で教員からコメント等を記されて返却され、全体に関わる事柄については授業中に教員から詳しい説明を受けるフィードバックが与えられるというシステムを作り活用した。これをもって、授業への参加意識を高める工夫の一つとした。</p> <p>③総合人間科学の科目であり、専門分野の科目とは異なるが、聖書の古代の状況を現代の状況に翻訳するに当たり、理解力を助けるための具体的なメタファーや例えば、可能な場合には福祉と関係のあるものを用い、キリスト教学の知識や理解を専門職との関係で蓄積できるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>①成績を見ると、平均値は79.61点であり、再試対象は0名であった。分布的には、90点以上が13.48%、89～80点が24.71%で、理想的レベル(概ね80点以上)に達した受講者は38.20%であり、79～70点が57.30%、69～60点が4.49%で、標準レベル(概ね60点以上)のそれは57.30%であった。ただ、4名は60点台の「可」で何とか標準レベルに達したものであった。成績で見ると、知識理解はほぼ目標に達した。</p> <p>②学生の&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順(以下同)に「19、39、28」と「13、36、36」で100%と98.84%となっており、それぞれ否定的回答は「少し」「全く」の順(以下同)に「0、0」と「1、0」で0%と1.16%であった。アンケートが試験前の実施であったことで少し差異があるが、わりに成績分布と平衡が取れていた。</p> <p>③学生の専門分野における達成自己評価については、思考判断に関する&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;に関しては、肯定的回答は「8、18、53」と「7、14、55」で91.86%と88.37%であったのに対し、否定的回答は「6、1」と「9、1」で8.14%と11.63%となった。</p> <p>④同じ専門分野でも意欲関心に関する&lt;意欲&gt;では肯定的回答は「7、14、55」で88.37%であり、否定的回答は「8、1」で10.47%あり、無回答が「1」あった。</p> <p>⑤さらに専門分野の技能表現に関する&lt;技術&gt;&lt;コミュニケーション、表現力&gt;の習得では、肯定的回答はそれぞれ「5、13、48」「5、11、49」で76.74%と75.58%であったのに対し、否定的回答はそれぞれ「19、1」と「19、2」で23.26%と24.42%であった。</p> <p>⑥学生の&lt;規範学習&gt;に関する達成度の自己評価を見ると、肯定的回答が「7、19、55」で94.19%であったのに対して否定的回答は「5、0」で5.81%であった。</p> <p>⑦以上、最も不採点の低かった専門分野の技能表現では、否定的回答が24%前後となし肯定的回答は76%前後に留まった。それに対し、最も評価の高かった知識</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPの位置づけから検討すると、総合人間科学の1つの科目として、専門分野の諸領域を超えた学習上、その根本となる総合的視点と人間性を養い広い視野に立つアプローチを可能にすることに意義がある。上記の通り、学生の達成自己評価の否定的回答を見ると、&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関してはいずれも0%乃至1%台であった。専門分野の学習においては、思考判断の&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;に関してはそれぞれ8.14%と11.63%、意欲関心の&lt;意欲&gt;では10.47%、技能表現の&lt;技術&gt;習得では23.26%であった。その他、&lt;コミュニケーション、表現力&gt;の習得では24.42%、態度に関する&lt;規範習得&gt;に関しては5.81%であった。このように非専門と非技能表現の分野では0%台から5%台で6%未満であり、専門と技能表現の分野では8%台から24%台と開きがあり25%に迫った。つまり、肯定的回答は非専門と非技能表現の分野では94%以上であったが、専門と技能表現の分野では76%前後に留まった。非専門と非技能表現分野では授業内容は妥当であるが、専門と技能表現の分野に関しては特別な工夫がなされない限り学生の達成度自己評価の現状以上の向上は遠いと言える。</p> <p>②DPの位置づけを検討すると、上記の通り、学生の達成自己評価によると、豊かな教養のもと社会を多面的に捉える視点と知識習得の項目である&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;、及び、社会の一員としての自覚・責任・自己研鑽の態度に関わる&lt;規範習得&gt;、これら非専門と非技能表現の分野では否定的回答が6%未満であった。これに対し、課題についての確に把握し支援方法を&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;、及び、人々のいのちや生活さらに福祉的課題に関心をもち解決への創造的支援を探索する&lt;意欲&gt;、並びに、対人援助職としての基本的専門的&lt;技術&gt;の習得という専門分野と、他者と関わる基本的なコミュニケーションスキルを習得する&lt;コミュニケーション、表現力&gt;に関する否定的回答は23%前後に至った。つまり、肯定的回答は、非専門と非技能表現の分野では94%以上であったが、専門と技能表現の分野では76%前後に留まった。DPの位置づけから検討すると、学生の達成度自己評価が専門と技能表現の分野ではかなり高い傾向性を示している。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>① 学生の担当教員への3つの意見が出され、2件は「和みました」等の肯定的なものであったが、「順序立てて話してほしい。話の流れがつかみにくく、結論がよく分からないことが多かった」という否定的なものが1件あった。この数値は、&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関する達成自己評価において、否定的回答が「少し」「全く」の順に「0, 0」「1, 0」で両者合わせて1件であったことから、同一の学生が&lt;知識&gt;の習得に関しては肯定的に回答し、&lt;理解&gt;に関しては否定的に回答し、その理由を意見として記載したという高い蓋然性を伺わせる。この学生の「順序」「流れ」「結論」という言葉が示唆するように、「起承転結」の講義構成が把握しづらかったということであろう。</p> <p>② 学習量の評価を見ると、&lt;授業の記録&gt;につき、「記録しなかった」との回答者が5名いた。&lt;1回30分以上の予復習&gt;を「全く」しないという回答者がそれぞれ40名前後であったが、28名が挙げた理由の内、「授業で理解した」「必要がなかった」「時間がなかった」以外に「仕方が分からなかった」という回答者が8名いた。意外なことは「しなくてよいと思った」という回答が2件あったことである。</p> <p>③ 授業の進め方に関する授業の質評価を見ると、&lt;学習の範囲や課題は明らかであった&gt;という項目で、肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」(以下同じ)の順に「15, 36, 32」であり、否定的回答は「少し」「全く」(以下同じ)の順に「3, 0」であった。&lt;理解しやすい&gt;という項目では、「10, 24, 42」で、否定的回答は「9, 1」であった。&lt;学生の質問への答を得る機会&gt;では肯定的回答は「11, 15, 53」で、否定的回答は「7, 0」であった。最も否定的な回答が多かったのは&lt;参加の機会&gt;で「17, 1」という数字が示すように、肯定的回答も「7, 13, 48」と下方の数字が大きかった。</p> <p>④ 以上の現状を踏まえるとき、知識・理解を得られる具体的改善策として、1)記録しない学生への対応として板書の内容をプリントして配布すること、2)講義の構成</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>① 授業準備として、学習動機向上に建学の精神「感恩奉仕」との関係と目的、評価基準を明確にすることは今後も必要である。学生の目的達成のために、成績で見える限り不可の学生はいなかったが、「可」で何とか標準レベルの目標に達しているものが4名いた。この4名を次のレベルへ上げる改善策に関しては、&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関する達成自己評価では否定的回答は「少し」「全く」の順に「0, 0」「1, 0」で全体で1名であったが、先に記した唯一の否定的意見が全体の知識理解の底上げになる貴重な改善策を示唆していると思われる。講義では常に全体の構成を学生が意識できるように喚起し続けることである。</p> <p>② 総合人間科学の科目として、専門分野の諸領域を超え、その根本となる総合的視点と人間性を養う広い視野に立つアプローチを可能にする利点は、専門分野とは異なる学問する喜びをもたらす得る。確かに、「学生の授業評価アンケート」の否定的回答を「少し」「全く」の順で見ると、&lt;理解しやすい&gt;という項目では「9, 1」で10名おり11.63%となり、&lt;学生の質問への答を得る機会&gt;では「7, 0」で7名おり8.14%となり、&lt;参加の機会&gt;では「17, 1」で18名おり20.93%となっており、果たして「学問する喜び」を体験できたか見えにくい。しかし、学生の担当教員への意見が3件に留まり2件が感謝の類で否定的意見が1件だけであった。&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関する達成自己評価で肯定的回答が100%と98.84%であった数字から見ると、&lt;理解しやすい&gt;とは言い難い&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;を得ることが出来た、という学習体験をしたということであろう。</p> <p>③ テキストに記されているように、この科目は実学であって、この科目の知識理解を増すことは、専門分野での判断力及び意欲の基盤を広く強くするものである。学習量の評価で予復習の時間が30分未満の40名の学生の内28名が挙げた理由の内、8名が「仕方がわからなかった」であり2名が「しなくてよいと思った」と回答していた。学生が予復習の時間を増加するように、&lt;6. 授業の進め方とその向上について&gt;の④にすでに記した載した改善に向けた取り組み実学としての成果を上げ</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
西洋の音楽と文化		前期	選択	はい	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①単位確保のために履修する学生の他、音楽に関心があることが主な履修動機となっている。単位確保のため履修した学生が、この講義をきっかけに西洋音楽と文化への興味・関心を持つことを期待し、身近なテーマを授業内容に設定した。また、高校までの音楽の知識と本学におけるキリスト教教育を基盤に、キリスト教音楽を学ぶことで、新たな視点から西洋の音楽と文化への関心をひきつけるようにした。②学年・学科横断的科目であることから、過度な専門技術や知識ではなく、基礎的な知識から、音楽文化について理解を深めていけるようにしている。③予習・復習しやすいよう、西洋音楽史のわかりやすい参考書をシラバスに参考図書として加えた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は75点であり、再試対象は1名であった。理想的レベルに達したものは32人と、ほぼ半数に近かった(理想的レベルは80点以上に設定)。学生による授業評価において、知識理解では達成されたという評価であった。キリスト教音楽について、これまで学ぶ機会がなかったため、新しい知識と理解が学生自身の達成感に結びついたと思われる。関心を持って授業に参加していた学生は、熱心にノートをとり、講義を聞く姿勢がみられた。次年度の授業達成目標には現在の知識理解、意欲関心の目標達成度を充実させ、さらに思考判断を加えられるよう、検討を進めたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、学科横断的科目であるため、西洋の音楽と文化について概説し、さらに日本における西洋音楽の受容を解説することで、異文化を多角的に理解し、総合的・分析的視点で学ぶことができるよう工夫しているため、内容的には妥当であるとする。②DP.行動目標からみた内容的妥当性:この講義に関心を持って履修した学生と、単位確保の目的で履修したことが主な履修動機であり、後者の意欲関心を引き上げることが課題であった。知識理解に偏らないよう、次年度より思考判断をDPに加え、授業内容の改善を検討したい。③まとめ:以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の意見として、パワーポイントのスライドをノートに書くのに時間がかかり、説明を十分に聞けなかったというものがあつた。これは資料を配布することで改善したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目において、DP基礎的知識については、達成できた。次年度は、思考判断をDPに加え、知識および思考の能力を養うことができるよう、検討していきたい。また、内容の充実を図り、毎回の授業のねらいを具体的に示していくよう、改善を行いたい。さらに、毎回授業内容について確認シートを配布し、学生ひとりひとりの理解度を把握できるよう検討したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	柳澤伸一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
西洋の歴史と文化	1	前期	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>高校世界史の履修を前提にしているが、受講動機で、「関心のある内容である」の選択率60%より「単位数を確保する」のそれが80%と高いことに配慮し、過去と現在のつながりを具体的に指摘しながら、関心を引き付けるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績平均は、82であり、おおむね良好である。到達度自己評価の「事象を理解する視点や考え方を売ることができた」、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が4を超える。授業の質評価では、「学習の範囲や課題は明らかであった」が比較的高評価であるが、「学生が参加する機会が作られていた」は低評価で、改善が必要である。予習・復習時間については、学生間の差が大きい。学生の自発性に任せすぎがあり、教員の指導にきめ細やかさが不足していた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、総合人間科目の一つで、DP1に係わる位置づけがなされている。それは、妥当であるが、学生が専門科目との関連性を感じられる工夫が授業にないと、断片的知識の獲得に終わりがかねない恐れがある。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、教科書を使い、毎回、テーマに基づいて、レジュメ1枚と関連資料数枚を配布して、基本的に講義形式で進めた。資料の作成に際しては、最近の新聞記事も使い、歴史と現代の関連が捉えられるようにした。予習・復習について、学生任せにしたきらいがあり、教員に課題を具体的に与える姿勢が求められた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>DP1に係わり、高校までの世界史の履修を前提にして、講義を通して西洋史について新しい知見を与える課題はおおむね達成できた。しかし、学生に予習・復習をはじめとするアクティブラーニングを促す工夫では改善の余地がある。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	中島俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理学	1	前期	選択	はい	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○		○		

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>心理学の分野はすごく広く多岐にわたっている。基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「同一性の形成」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は集中力と興味関心が切れて寝てしまう学生への対応であった。このため講義途中で「質問会」形式を取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。本試験は記述式がその中心であるが、記載の内容もしっかり書かれており授業者の満足を得るものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「分かりやすかった」「映像が面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「授業者の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業に臨む前の学習の促進を図るための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果から言える様である。学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後試行してみたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人も存在する。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地は大きい。がんばりたい。</p>
------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉学科
氏名	村上 太郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
行動科学		前期	選択	はい	

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であるため、講義内容に関心を持っている学生または単位数の確保といった動機が主であると思われるが、授業を通して内容に興味を持ってもらえるようなテーマ・取り扱う内容を工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>「到達度自己評価」においては、学生評価の平均値がすべて3点を上回っていた。分布としては、「まあまあそうだと思う」と「わりにそうだと思う」に8割以上の学生が集中していることがうかがえる。とはいえ、様々な学部・学科の学生が非常に多く受講していることから、それぞれの専攻を勉強している学生それぞれの受講ニーズを等しく満たすことは非常に難しいため、この程度の平均値は比較的高いものではないかと考える。</p> <p>学習量としては、授業外での復習は、学生の自主性に任せてはいるものの勤めていた。その結果、復習を度々行っている学生もいた。授業の中で完結できるような内容を心がけていたため、「学習量の評価」としては適切であると考え。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DPからみた内容的妥当性 本科目は選択科目であり、学生の受講動機をふまえると難しい部分もあるが、学生も一定の成績をあげていることから、内容的には妥当であると考え。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」に関しては、すべての項目において平均値が3点以上あり、中には4点を超える値が示されたものもあった。とくに、「説明の理解のしやすさ」は様々な学部・学科の学生からの評価として3点後半から平均値が4点超にかけて高い値であることは評価に値すると思われる。今後もこの水準を落とさないように進めていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>講義に対する学生の動機付けを維持することは変わらずに課題であると考えられるが、授業内容を工夫していくことが今後も重要である。授業内容、進め方に関しては高い評価を得ていたと思われるので、今後もこの水準を維持したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学	1	前期	選択	いいえ	52

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると、「必修科目である」、「資格取得に必要である」と答えた学生は、それぞれ30.6%、16.3%であった。これは、本科目が養護教諭の教員免許状あるいは保育士資格の取得を目指す学生にとってのみ必修であることを反映した結果であろう。「関心のある内容である」と答えた学生は42.9%であり、看護学科の学生(4.2%)と比較すると、福祉学科ではより多くの学生が授業内容に関心をもっていた。授業においては、学生の興味・関心をさらに引きつけられるように、健康に関する身近な事例をできる限り多く挙げるようにした。</p> <p>昨年度までと同様、毎回の授業において理解度チェックを行うと同時に、質問を受け付けることによって、学生の理解度を把握し、理解が不十分であったと思われる事柄については次回の授業で説明を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は72.5(±11.5)点であり、再試対象者は8名であった。成績分布別にみると、90点以上が10%、89～80点が22%、79～70点が31%、69～60点が29%であった。92%の学生が標準的レベルに達しており、32%の学生は理想的レベルに達していた。一方、標準レベルに達していなかった学生は4名であり、うち2人は再試を受験しなかった。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が6%、「わりにそうだと思う」が36%、「まあまあそうだと思う」が58%とほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.5)。</p> <p>「知識・理解(DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が14～30%、「わりにそうだと思う」が32～48%、「まあまあそうだと思う」が22～50%と、ほぼすべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.6～4.1)。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「心身と健康」領域に含まれる科目である。授業では主に定期的な運動がどのようにして生活習慣病を予防し、体力を向上させるか、さらには運動の効果より大きくするために、どのように運動を計画していくのかなどについて解説を行った。「知識・理解(DP1)」および「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、95%以上の学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.0～3.9であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。しかしながら、学習量の評価についてみると、約30%の学生が1回30分程度以上の予習・復習をまったく行っておらず、また、約70%の学生は授業課題以外の学習に取り組んでいなかったことから、学生の学習意欲をさらに高める工夫をする必要がある。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。 今後の課題としては、定期的に予習・復習を行う学生、また授業課題以外の学習に取り組む学生を増やすために具体策を考えることである。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康科学実習	1	前期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>球技スポーツでは、チームのメンバーが固定的にならないように、毎回メンバーの入れ替えを行い、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。また、試合後には必ず良かった点や悪かった点、次の試合に向けての改善点(課題)などをチームで話し合わせ、記録用紙にまとめさせることによってチームで活動することの意義を考えさせた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は86.5(±5.4)点であった。成績分布別にみると、90点以上が33%、89～80点が58%、79～70点が8%であった。すべての学生が標準的レベルに達しており、約90%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が36%、「わりにそうだと思う」が46%、「まあまあそうだと思う」が17%とほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値4.0)。</p> <p>「技能・表現(DP5)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目7と8)についても、「かなりそうだと思う」が15～21%、「わりにそうだと思う」が36～38%、「まあまあそうだと思う」が38～43%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(3.6～3.8)。</p> <p>「態度(DP4)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目9)についても、「かなりそうだと思う」が14%、「わりにそうだと思う」が43%、「まあまあそうだと思う」が35%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.6)。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「心身と健康」領域に含まれる科目である。授業では体力向上を名座した運動(ストレッチング、筋力づくり運動およびスタミナづくり運動)の実施方法を実技を交えて解説した。また、球技スポーツ(バスケットボール、バレーボール、フットサル)の技術練習およびゲームを行った。「全体を通した」学生の到達度自己評価では、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。また、「技能・表現(DP5)」および「態度(DP4)」に関する学生の到達度自己評価でも、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。</p> <p>今回は該当するDPは、「技能・表現(DP5)」と「態度(DP4)」のみであった。しかしながら、球技スポーツにおいて、個人またはチームとしての技能の向上には、「思考・判断」や「意欲・関心」もまた関係していることから、これらのDPも含める必要性がある。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.5～4.0であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。 本科目では、各種トレーニングおよび球技スポーツを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、球技スポーツのルールや練習方法を調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。 また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中には授業以外でランニングやジョギングをしていた者や家の中でトレーニングをしていた者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね目標は達成できたと考える。 今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かす学生の数を増やすことである。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	河岸重則

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活の中の化学	1,3	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講生は高校時代に「化学」を履修した人が少なく、また「化学」に苦手意識を持っている人が多い。加えて、ほとんどの受講生が「単位確保」を目的としての履修のため、授業内容を易しくて、日常意識していないが注意してみると「化学」が生活の中にたくさん存在していることを理解し関心をもってもらうことを目的とした。</p> <p>②上記の目的のため講義内容をその時間内に理解することに重点をおいているので特に「予習・復習」を求めている。講義の開始には前回の内容の「キーワード」の復習から行なった。</p> <p>③数回、確認テストを行い、理解度のチェックを行なった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①試験を資料持込で行い、その資料を理解しているなら点数のとれる形式で行なった。平均点は90点以上であった。</p> <p>②身の回りの化学から受講生のおのおのが自分でレポートの課題を決定して提出させたが、全員きちんと仕上げていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「一般教養科目」であり、また選択科目、学科横断的科目である。試験の点数、レポート内容から、内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

学生の発言を引き出すような工夫を検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

一般教養としての化学の内容として特に問題はないと考える。化学は範囲が広いので、学生に意見を聞いて学生がさらに関心を持つような講義項目を加えるのも課題かもしれない。



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活と環境	2	前期	選択	いいえ	5

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした学生が40%であった。本科目の一般教養科目としてのカリキュラム上の位置づけと講義概要を理解してもらうため講義1回目にパワーポイントを用いシラバスの説明を行なった。</p> <p>②受講動機として関心があると回答した学生が20%、単位確保のためと回答した学生が80%であった。本科目は保健福祉学部で開講している科目で、福祉学科の学生には環境問題に興味をもってもらうことを第一と考え、講義内容に身近な環境問題や環境と健康問題をとりあげた。</p> <p>③レポート課題には評価項目だけでなく点数配分を示した。また、課題はグループ討議のあと十分な時間をとり提出させるようにした。</p> <p>④教科書を使わず資料を配布しているため、学生には適宜重要事項を資料に記載するよう指示した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		達成された	

  

<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は76点であり、受講者全員が標準レベル(60%以上)に達していた。理想的レベル(80%)に達した学生はいなかった。</p> <p>②学生の知識理解の達成度は70%、学生の知識理解の到達度自己評価は平均値が4.2と学生が知識を確認、修正、新たに得ることができたと思うと回答している。また、意欲関心の到達度は84%であったが、専門分野において学びを深めたいという意欲をもつことができたという学生の到達度自己評価平均値は3.2であった。</p> <p>③課題レポートの評価基準は明確に示したため、学生の授業の質評価平均値は4.2であった。また、自分の意見をまとめる、話し合うという授業の質評価平均値は4.6、コミュニケーション力や表現力を高めることができたという到達度自己評価平均値はともに4.8であった。これらは、レポート提出前に課題解決に向けたグループ討議をいれた結果と思われる。</p>
---	---

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 この科目は一般教養科目であり選択科目である。一般教養と専門領域の基礎となる知識を培う位置づけの科目で、学生も一定の成績をおさめており内容的にも妥当であるとする。</p> <p>②DP, 行動目標からみても内容的妥当性 成績評価から知識理解については、標準レベル以上の成績をおさめている。また、学生の自己評価から専門分野への学びを深めたいという意欲を引き出すには充分ではなかったが、日常生活と環境の関わりに対する関心意欲は理想的レベルに達しており内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であるとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生に図書やインターネットの活用をシラバスに記載、また、講義でも指導したため80%が図書館を利用していた。また、学術データベースを利用した学生もいた。しかし、受講生の40%が1回も予復習時間に30分以上かけておらず、80%の学生が課題以外の学習に自発的に取り組んでいなかった。自由意見に時間がないと記載している学生がいる。学習時間を講義中に確保するなど工夫が必要と思われる。また、学術データベースの利用についてもシラバスに記載し、積極的に利用を促すようにしたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>一般教養科目としての本科目の位置づけから、一般教養と基礎知識を培うという目標は達成できた。しかし、専門領域を学ぶ意欲を十分に引き出せていないことから、専門領域を意識させるような課題を与えることを検討したい。意欲関心を図るための方策として、課題についてグループ討議を行なったが、これによりコミュニケーション力や表現力を高める一助になり思わぬ効果があった。次年度は上記に記載しているよう学生の学習時間の確保をはかり学習量を増やす工夫をしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	廣瀬 信之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報リテラシー	1	前期	選択	いいえ	56

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の積極的な受講態度を促すために、昨年度までよりも提出課題を課す回数を増やした。また、この授業では情報の収集・管理だけではなく、他人に分かりやすく伝える方法を身に付けるために、単位認定の要件の1つとして、受講生全員が他の受講生の前でプレゼンテーションをする機会を設けている。受講動機を見ると、「関心のある内容である」(46.9%)という積極的な動機よりも「単位数を確保する」(61.2%)という消極的な動機の方が上回っている。これには、「情報リテラシー」という科目名が耳慣れない言葉であることも関連していると推測される。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>標準的レベル(70点以上)に達しなかったものが1名いたものの、受講生の多くが理想的レベル(80点以上)に達した。学生による到達度自己評価では、知識・理解の平均点が4.2と高く、目標は達成されたと判断した。意欲・関心の平均点は3.7と知識・理解と比べると若干低かった。この点に関しては、授業で取り扱うテーマやデータを少しでも専門分野に関連したものに近づけるなど工夫をすることで、学びへの意欲を向上させたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、大学で行うレポート作成やプレゼンテーション技術の習得を目指した、パソコンを用いた授業である。福祉学科のDP3-1(人びとのいのちや生活について、さらに社会の福祉的課題について関心をもつ)と関連づけるのは難しい点があると思われるが、DP1-1(豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える視点と知識を身につけている)に照らし合わせれば、内容的妥当性には問題は無いと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」の平均点が4.3と高かったことは評価できる。これは、少数ではあろうがパソコンの初学者がいることを想定して授業を準備し、説明を心がけて丁寧に行ったためであると考えられる。</p> <p>今年度は授業への積極的参加を促すために提出課題を多めに課したため、課題以外の学習を想定していなかった。学習量の評価の「授業の課題以外に学習していない理由」に、「課題でいっぱいだった」、「時間がなかった」等の意見が散見された。これらの意見はおそらくパソコン初学者のものと推測され、当該学生らにとっては提出課題がかなりの負担になっていたと考えられる。8回目(あるいは5回目と10回目)の授業においてアンケートを実施し、特に初学者にとっての負荷を把握・調整する工夫が必要と感じた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>パソコン初学者を想定して丁寧な説明を心がけた結果、「説明は理解しやすいものであった」の平均点が高かった点は自己評価できるが、一方で昨年度までよりも多めに課した課題がおそらくパソコン初学者と推測される一部の受講生にとって過負荷となっていた可能性が明らかとなった。本科目はパソコン初学者の受講を想定しているため、パソコン操作にすでに習熟した受講生にとっては多少退屈かもしれないが、初学者に合わせた進捗調整を行うようにしたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	廣瀬 信之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
情報科学演習 I	1	前期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の積極的な受講態度を促すために、昨年度までよりも提出課題を課す回数を増やした。また、この授業では情報化社会の中で生き抜くための情報倫理についての理解を促進するために、スライド資料での解説に加え、ビデオ資料の視聴も行うようにしている。</p> <p>受講動機を見ると、「単位数を確保する」(40.0%)について「資格取得に必要である」(38.7%)が挙げられており、養教一種免の取得のために動機づけが高い受講生もある程度いることが分かる。ただし、社会に出る前に身に付けておくべき情報倫理を取り扱う本科目は、内容自体に関心を持って受講してもらいたい科目であるため、シラバスの内容を工夫して「関心のある内容である」(25.3%)という受講動機を高めるようにしたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>標準的レベル(70点以上)に達しなかったものが4名いたものの、受講生の多くが理想的レベル(80点以上)に達した。</p> <p>学生による到達度自己評価では、知識・理解の平均点が4.0と高く、目標は達成されたと判断した。意欲・関心の平均点は3.6と知識・理解と比べると若干低かった。この点に関しては、授業で取り扱うテーマやデータを少しでも専門分野に関連したものに近づけるなど工夫をすることで、学びへの意欲を向上させたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、ワープロ・表計算・プレゼンテーション用のアプリケーションソフトの発展的演習に加え、情報倫理の知識を学ぶ授業である。福祉学科のDP3-1(人びとのいちや生活について、さらに社会の福祉的課題について関心をもつ)と関連づけるのは難しい点があると思われるが、DP1-1(豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える視点と知識を身につけている)に照らし合わせれば、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点が3.4と低かった点は反省点である。これは特に、情報倫理についての座学部分についての評価を主に反映していると考えられる。今後は、具体的な事例を示して情報倫理的に問題があるか否かについて学生自身で考え話し合うような機会を設け、授業への参加を促したい。</p> <p>今年度は授業への積極的参加を促すために提出課題を多めに課したため、課題以外の学習を想定していなかった。学習量の評価の「授業の課題以外に学習していない理由」に、「授業だけで精一杯だった」、「時間がなかった」等の意見が散見された。これらの意見はおそらくパソコン初学者のものと思われる。当該学生らにとっては提出課題がかなりの負担になっていたと考えられる。8回目(あるいは5回目と10回目)の授業においてアンケートを実施し、特に初学者にとっての負担を把握・調整する工夫が必要と感じた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>到達度自己評価などを総合的に見ると教育目標はやや達成されたと言えるが、情報倫理についての座学部分について、学生が参加する機会が少なかったという問題点があった。この点については、具体的な事例について考え話し合う機会を増やして改善を図りたい。昨年度までよりも多めに課した課題がおそらくパソコン初学者と推測される一部の受講生にとっては過負荷となっていた可能性も明らかとなった。パソコンのアプリケーション操作の演習については、本科目は「情報リテラシー」よりも発展的な内容を扱うがゆえに、初学者と習熟者の差が顕著に表れやすく、進度調整になお一層の注意が必要であろう。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学概論	1	前期	選択	はい	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「単位数を確保する」51.1%、「資格取得に必要である」42.2%、「関心のある科目である」31.1%であった。シラバス・イントロダクションにおいて、権利擁護論および司法福祉論で扱う講義内容の基礎となる旨を述べていることが、ある程度影響していると思われる。ただ、保健福祉学部3学科同時開講の科目のため、福祉に特化した授業内容にするのは困難であるが、学生が具体的なイメージを持ちやすい事例を挙げて、関心を引き付けるように努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された			やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期試験の平均点は73.96点、再試対象者は4名であった。また、理想的レベル(80点以上)に達した者は16名であった。知識理解を文章で論述してもらう問題形式であったが、筋道通った文章で解答している答案がいくつか見られた。学生による到達度自己評価については、知識理解の自己評価と成績に相関関係が見られる。また、DP4の態度(職業倫理や行動規範等)についての自己評価が高い。これは「法学概論」という科目そのものの特性に由来しているものと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると、本学は「総合人間科学」科目であり、国家試験の試験科目ではないが、シラバスにも明記してある通り、福祉専門科目である「権利擁護論」「司法福祉論」で学ぶ内容の基礎となる。しかし、履修の際にシラバスを参考にした学生が半数以下であることから、学部学科全体で履修登録の際にシラバスを学生に読ませ、理由の際の参考にしよう、働きかける必要がある。将来社会の中で、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、人々を総合的に理解するための基礎を得るためには重要であり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考ええる。よって、内容的妥当性には問題ないと考ええる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「説明は理解しやすいものであった」の平均が3.8であり、レジュメ作成等の努力がある程度報われていると思われる。他方、「学生が参加する機会が作られていた」の平均が2.9と低い。これについては、保健福祉学部3学科同時開講のため、履修者が多数になることから、講義の性質上、学生の参加の機会を設けるのは困難であると考えている。「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均が3.1とやや低い。かつて質問を受け付けていたら、質問が殺到し、担当教員の体調や他の業務に支障が出たことがあったので、教員の業務の負担にならない程度で、学生の質問を促す方を考えたい。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習について「法学に関するマンガを読んだ」「教科書を読んだ」「復習をした」「レジュメの見直し」などを行っている学生がいる一方で、授業以外に学習していない理由として「何をしたいかわからなかった」という意見が見られた。これについては、予習・復習の具体的な仕方について、今後の講義で説明していきたいと考えている。</p>
---	--

7. 総合的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総合的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、人間を総合的に理解するための基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考える。今後は予習・復習の習慣の定着と、学生からの質問を促す方を検討したいと考えている。</p>
------------------------------	---



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉谷修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
現代と教育	全学年	前期	選択	はい	123

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業は学科・学年のちらばりが大きく、学生の学修動機学修意欲にも大きな差があると考えられる。そのため、授業への参加態度の重要性、授業の意味づけなどについては導入部分で丁寧に説明すると同時に、適宜注意を促した。</p> <p>授業に求められる事前の知識(歴史に関するものなど)は適宜説明を行い、学生間の格差を埋めることに努めた。また、学生自身が経験した現代的状況から授業を開始することで、無理なく歴史をさかのぼることができるように計画した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解については本授業の主たる達成項目であり、ある程度満足できた。しかし、学生間の理解の差が大きく、その多くの部分が意欲・興味・関心の差だと予想される。複数クラスの授業であったが、クラス間の反応に大きな差があり、反応がよいクラスは点数もよい傾向がみられた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の専門や学年にかかわらず開講されている科目であり、特定の試験など外部の評価スケールと連動している科目ではないため、学生自身が知的好奇心を働かせて楽しめる授業を行うことが必要であると考えている。その意味で内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>現代の状況から始まり、歴史を一気に遡った上で現代までつなげるという構成は問題無いと考える。教材に関しては画像・動画など学生の興味関心を刺激するものを準備し、歴史上の資料は実物を実際に見て触るという機会ももうけた。</p> <p>この結果、知的好奇心を活性化させるという目的はある程度果たせたと考えるが、その一方で、興味のない学生は全く反応しないこともある。純粋な選択授業であり、授業の内容に興味関心があることを前提に履修しているはずであるが、時間割や単位取得の都合でやむなく授業を受けている学生もいると予想される。その学生にどのように授業内容に興味を持ってもらえるかはこれまで同様、本授業の最も大きな課題であり、今後とも教育方法上の工夫を積み重ねたい。子どもの遊び文化に関する授業とは直接関係のない動画を紹介した時には普段興味を示さない者も反応していたので、そのような点からも工夫を続けたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>授業に興味関心を持ち、繰り返し説明した重要事項を理解し、動画資料や実物資料、PPT資料やレジメなど、授業で用いられたあらゆる教材に真摯に取り組んだ学生の達成状況は満足できるものであった。今後とも授業中のあらゆる学習経験を評価することで、充実した授業経験が成績につながるように努力したい。</p> <p>その一方で単位のために受講しているように感じられる学生をいかに惹きつけるかという課題についても取り組んでいきたい。現代を中心に授業を組み直すというのも一案であるが、歴史資料のもつ相対化の視点は捨てがたい。歴史をみる目を通して現代を理解する目を養うことを体験して欲しいと考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	大塚 由美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英語 I	1	前期	必修	いいえ	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>必須科目ではあるが、専門科目ではないことから、受講生の能力に、かなりバラつきがあるため、授業の際に苦労した。能力別に2クラスに分けられた内の下位のクラスと聞いていた通り、英語がまったくわからないと言う学生が一部に(2割弱)存在した。ただ基礎的英語力がかなり不足する学生でも、授業に参加できるように、単語を調べた学生に発表させたりと授業運営には工夫をした。下位のクラスとはいえ、半分くらいの学生は、授業の理解ができる学生であったので、授業をひっぱってくれたと思う。</p> <p>シラバスに記載された授業目標は、基礎的な英語の力(単語力、簡単な英語を読む力、簡単な英文を作成する力)を養成することであったので、授業も、単語、読解、英作文のエクササイズ等を行い、試験の範囲も設定して、試験勉強に取り組むモチベーションを高めるように心がけた。その結果、最終成績で60%の学生が80点以上、60点以上を獲得した学生は82%に達した。それでも18%の学生が60%以下だったことは残念である(その学生たちも再試験の結果、最終的には単位を獲得したが)。</p> <p>アンケート結果から、授業の予習・復習に取り組んだ学生が、かなりの数に達しており、学生の頑張りを評価したいと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>英語の基礎力がほとんど身に着いていない学生もいる中での授業だったが、そのような学生の中にも真面目に取り組もうと努力している学生もいて、心から応援したいと思った。そこで、それぞれのレベルで授業に参加できるように、予習した学生には、単語などの簡単な予習でも発表を促すように心がけた。自由記述で、「分かりやすい説明をありがとうございました」と書いた学生がいることから、授業の説明自体は一般的に考えて、分かり易いものだったと理解している。それでも学生の英語力、または理解力によって理解度は異なることは考えられるが、大多数の学生に焦点を当てざるを得ないのが残念だった。</p> <p>その結果、最終成績も80点以上を獲得した学生が60%であることから、授業の内容は十分に理解され、目標はほぼ達することができたと考えられる。それでも、18%の学生が60%以下だったことは残念である(その学生たちも再試験の結果、最終的には単位を獲得したが)。</p> <p>アンケート結果から、授業の予習・復習に取り組んだ学生が、かなりの数に達しており、学生の頑張りを評価したいと思う。そのような学生の頑張りが、アンケート結果にも関連していると理解している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>テキストは大学指定のものであり、その内容も、人権問題や社会問題等、福祉の分野を専門とする学生が知識として知っておくことが有意義であると思われる内容になっている。アンケートから、テキストの内容を理解した後、テキストに関連する映画を観たと記述した学生もあり、学生の中で人権意識や現代社会に対する理解等が深まってくれる可能性を示していると思う。したがって科目の内容的妥当性には肯定的な判断を示したい。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

受講生の82%が試験で60点以上を獲得、80点以上が受講生の60%を占めていることから総合的には授業目標を達成したと理解できる。18%の受講生が再試  
対象となったことは残念だが、彼女たちも中学英語がわからないという学生もいる中、再試の結果、単位を取得できた。

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	末廣幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語Ⅲ	2	前期	必修	いいえ	106

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉学科の教科書「新世界を読み解く」は多分野の新聞記事を取り上げた構成になっており、ヒューマンサービスの専門家を養成する教材として適していると思われる。但し、英文や語彙の難易度が若干高く、取り上げられている話題も取り組みが難しかったと思われる。そこで、英文に取り組みやすくするために、英文記事に関する予備知識の説明を合わせて行ったが、英語の授業には関係のない内容と受け取る学生もあり、関心と予備知識の誘導には工夫を要した。和訳の予習は不可欠な為、準備した予習用紙を学生に配布し予習を徹底化した。予習用紙には単語欄と和訳欄と評価欄を設け、各自で予習用紙を作成するように指導した。また予習時における達成感を認識させるために、達成マークを評価欄に記入するように指導した。ちなみに達成マークはABC段階で表記した。この予習に基づき、授業において、予習した範囲の和訳を学生に発表させ、全員で確認作業を行い、和訳の修正、加筆を行った。授業では難易度の高い英文の文法や語彙の解説を同時に行った。予習用紙は授業後に回収し、各学生の学習意欲および理解度を確認する作業を行った。しかし、和訳を複写する学生も一部見受けられ、全員各自予習の徹底化の課題が残った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は88点、再試対象者は0名であった。標準偏差値はSは60名、Aは17名、Bは15名、Cは13名であった。概ね高得点者が全体の約7割を占め、極端に点数の低い学生はいなかった。必須科目であったため、学生も真剣に授業に取り組み、授業内で単語の小テストを行い、確認作業を行ったことが期末テストの結果として表れたと思われる。DPIにおいては「自分なりの目標の達成」「知識の確認、修正、新たに得る」の項目では約半数の学生が評価している。しかし、専門分野に関する設問では中間値の評価を示す学生が多く、職業倫理や職業選択の項目では約3割の学生が低い評価を示した。これは2年生として、専門分野の学習量が多くなると、英語学習の重要性という意識が希薄になると同時に、英語に対する関心や興味に個人差が出てくる結果と思われる。しかし、福祉学科のCPIに明記されているように「豊かな人間性と幅広い教養を身につける」理念として、語学学習は必要不可欠であると考えられる。そのためには、継続的な学習姿勢を身につけさせ、興味や関心を持てるような指導を行うことも必要であると感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性：福祉学科のCPIに明記されているように「豊かな人間性と幅広い教養を身につける」理念として、語学学習は目的にかなった内容となっており、内容的に妥当性があると考えられる。②DP,行動目標からみた内容的妥当性：DPの特徴としては学期末の試験結果と比較して、到達度自己評価が全体的に低い傾向にあると思われる。教科書の難易度、取り上げられた話題への関心度、予習の義務化、語学学習への関心の低さ等様々な要因が考えられる。また学生各人の英語力や興味にもばらつきがあると考えられる。またDPの「職業選択の参考」では高い評価を示す学生と低い評価を示す学生があり、質問の趣旨を理解することに個人差がかなりあったと考えられる。福祉学科における英語学習の観点から、DPの「職業倫理」「職業選択」の項目には質問方法の工夫が必要かと思われる。しかし、全般的にクラスの雰囲気は良好で、真面目に英語学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価：「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題」「説明の理解」は約7割の学生が高い評価を示していた。これは予習の徹底を図り、 予習用紙の提出を義務づけたことが評価につながったと考えられる。②学習量の評価： 大多数の学生が予習に時間をかけていることがわかる。特筆すべきは大多 数の学生が復習にも時間をかけていることである。また約8割の学生が各自でノートを作成していることである。真面目に熱心に学習に取り組んでいる姿勢がうかが える。③学修のための情報利用、図書館利用： シラバスを参考にした学生は約4割にとどまっていた。また図書館の利用者も1名にとどまった。多彩な内容を英語 で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今回の学生評価全般およびCPから、福祉学科の学習は専門的な領域の習得のみならず、現実の事象から学ぶべき事、また学ばねばならない事を英語学習とリン クさせて学生に指導することの必要性を強く感じた。更に英語学習としては学生数が多いために、英語力や興味にばらつきがあるが、これをまとめより満足度の高い 授業を提供し進めるかが課題となると感じた。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
中国語 I	1	前期	選択	いいえ	4

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○				

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①今まで学習経験のない科目であるので、科目名から学生の履修する意欲をひきつけられるように、初回のガイダンスでは詳しい授業の目標を示した。また、実用性のある実例を提示した。この科目の学習を通して、その将来性を示した。</p> <p>②学生の学習状況を把握し、学生が自らの復習を身に付けることができるように、毎回必ず前回学習した内容の確認テストを行った。</p> <p>③授業用のテキストの他に、普段の日常生活で実際に使える簡単な会話例文を、毎回の授業で別教材として補足した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①最終的な成績分布は、「100～90点」が2名、「79～70点」が2名であった。本科目の標準的レベルは75点以上、理想的レベルは80点以上とし、平均値は84.75点であったため、評価できる結果に達している。</p> <p>②「到達度自己評価」をみると、「自分なりの目標を達成した」の平均値は3.0点、「知識を確認修正し、新たに得ることができた」の平均値は3.7点であった。</p> <p>③「学習量の評価」によると、授業前の準備(予習)がかなり不足しており、これは次年度の課題としてもっと工夫すべきである。</p> <p>④「情報利用」をみると、「シラバスの記載を参考にした」値が2/3を占めており、シラバスが活用できていることが分った。</p> <p>⑤語学学習は単に言葉を習得するだけでなく、それと関連性のある知識や情報を学ぶべきである。この点について、「図書館利用」はまったくなかったという結果から、図書館の資源の利用、ネット情報の重要性に対する学生の認識はまだ不十分であることが考えられ、次年度に向けてしっかりと指導していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、「選択科目」であり、また「資格取得に必要でない科目」でもある点において、学生の受講動機を高めようとなり工夫した。学生は半期の授業を受け、一定の成績評価を得られることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②基礎的知識をしっかりと身に付け、新たな事象を理解できていることから内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③以上のことから、総合的にみると、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「(3)説明は理解しやすいものであった」の平均は4.0点、「(4)授業中に、自分の意見をまとめる、話しあう、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均は3.3点であった。しっかりと理解した上で、自ら習得した内容を発表できるようになったことは大変良いことと思われる。学習量の評価について、(1)授業の予習時間は1回30分未満は2/3を占め、(2)授業の復習時間は1回30分以上は2/3を占めた。新しい語学の授業であるので、予習することはかなり難しいということが(1)の結果から反映された。その反面、新しく学習した内容をしっかりと復習できているところは評価すべきである。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①殆どの学生にとっては、新しい語学の学習であったが、初級段階における中国語の表現記号(ピンイン)を判断し、発音できるということは概ね全員達成できた。 ②初級的な文法を理解し、簡単な文を表現することもできるようになっていた。 ③授業外の復習やその他の情報・図書館利用の面においては、まだ改善すべき点が多かった。もう少し学習の方法を指導していきたい。 ④以上のように、次年度からは予習課題に関する具体例を示し、学生が積極的にそれを取り入れ、また、習得した内容をもっと表現できるように授業中の発表時間を増やしていきたい。</p>
------------------------------	--



リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	金銀英

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
ハンゲル I	全学年	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○第二外国語として初級レベルの韓国語力をつけることを目標としている。開講後に行ったアンケートで(学校で実施する授業評価ではなく、別個に実施)「英語以外の言語に触れてみたい」や、「韓国旅行の際便利そう」などの積極性が見られる受講動機がある中「単位が欲しいから」との返答もなるなど、学生間の温度差があることが分かった。</p> <p>○受講姿勢に差がある60に近い受講生全員が興味と持つように「楽しい」授業を目指した。学生が興味を持ちそうな韓国事情や毎年好評のK-popなどを授業に取り入れ最後の授業まで韓国語への興味が持続するように勤めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>登録のみで授業に出なかった1名を除いた57名の成績平均は83.160で理想的レベルに達することができ、再試対象者もいなかった。</p> <p>授業評価における到達度自己評価でも全設問満足度が高いという嬉しい結果となった。中でも「知識を新たに得ることができた」や「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の設問に特に高い満足度が見られ、講義が重点を置いている点と学生の満足度が一致する結果が得られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ると内容的妥当性試験の結果で見られるように第二外国語として、目標としていた成果を挙げられたので内容的に妥当性があると考えられる。</p> <p>DP 授業中、学生達から受けた印象もさることながら、到達度自己評価でも高い評価を得ているので妥当性があると考えられる。</p> <p>まとめ 以上のことから内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>初級という授業の特徴上、学生間やり取りが難しいが、なんとか授業に取り入れる方法を考えたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>第二外国語として学習歴のない学生を対象に、基本となる話す・聞く・書く・読む力をつけることが目標だった。その目標を達成できたことにより次の「ハングルⅡ」に進むに不足しない実力がついたと思われる。そして授業評価の自由記述に「上級クラスがあれば進みたい」との意見があったことがこのクラスの成果の表れと言えよう。来年度も引き続きよい成果を挙げられるようにがんばりたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	中島俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育心理学	2	前期	選択	はい	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○		○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>より良い社会の建設は教育の成否にかかっています。良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むことを学生に強調しています。教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出るだけ厳選して授業に臨みました。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>定期試験の内容を見ると、良く書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。(客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる) 授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生が達成すべき目標を4点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明しておいたこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のいくものであった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>言葉による講義だけでは学生の集中力が続かないことは経験上理解しているので毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。これは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試みてみたいと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性を体現している現代の学生のニーズに対応して討議方法の工夫などさらなる工夫をしていく必要性を痛感している。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2015年度前期

学科	福祉
氏名	杉谷修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道徳教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の授業科目としては最初期にあたるため、関連知識が不足する傾向にある。このことを踏まえ、教育法規の体系や学習指導要領の位置づけなど前提となる内容の整理を行った。また、授業の性格上、教育実践まで到達する必要があり、完成度を求めるのではなく、基本となる項目をきちんと理解し実践できることが大切であることを教えるなど、最終到達点を意識しながら導入を展開した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>知識理解は学習指導案の形式を守るといった点では多くの学生が満足できるものだった。ただし、知識理解のポイントは別紙プリントを作成し、繰り返し説明していたにもかかわらず100%という意味で達成できなかったことに課題が残る。思考判断と技能表現は応用的な要求事項を多く含み、その意味で達成度が下がることは予想通りであった。意欲関心と態度は教職課程の学生として満足できる水準にあったと思うが、積極性という意味での向上が望まれる。</p> <p>学習指導案の作成にあたり、インターネットでの資料の引き写しは見当たらず、図書館等の文献を元にするケースが多かった。参考資料の引用・参考の質については不十分な点もあるが、「オリジナルの指導案」という意識はある程度持っていたようだ。この点については学年の進行とともにより質を高めるべきだが、その基礎となる2年前期段階ではある程度満足できると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程のいわゆる教職教養に相当する科目であり、従来行われてきた道徳そのものに焦点をあてた授業から道徳に関する実践的な力量形成を目指すものへと変化した科目である。その意味で、道徳の構造、道徳教育の法的位置づけという概説的内容から道徳をどう教えるかという学習内容を学習指導案という形式に則して理解し、最終的にはオリジナルの指導案作成まで進むという内容は適切だと考える。</p> <p>ただし学生の負担はある程度大きくなり、そのバランスを取るために道徳の取り扱う項目や対象学年をかなり絞り込む必要がある。その意味でやり残した部分も大きくなってしまふ。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>他の教職課程の学習があまり行われいない段階での授業であること。また、 道徳教育を受けた経験に関して、学生間の質的な差異が非常に大きいこと など、導入部分の一層の工夫が必要となる。</p> <p>また、意欲のある学生は適宜質問、指導案の添削などに訪れており、 かなり成果を上げていたが、そうではない学生との差が大きくなる傾向が みられた。授業時間内での質問コーナーを数回設けたが、やはり自分から 質問に来る学生は限られているという印象を持った。今後はもう少し広い 範囲の学生のパフォーマンスを向上させるインタラクションが必要だと考 えるが、時間の制約もあるため新たな形を工夫したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本年度は自主的な発表希望者が少なく、その点では意欲旺盛とは言い難 かった。ただ、作成された指導案については自分の頭で考え、オリジナル にこだわった内容もみられ、個人の学習としての積極性は評価できる。 今後は、大きな学習集団の中での積極性が道徳教育で児童生徒に求め る項目そのものであり、それを意識した授業への取り組みを促したい。</p> <p>また、繰り返しの指導にもかかわらず、少数ではあるが最低限度の約 束事を守れない者もあり、教職課程履修全体の指導とも連動しながら、 「教師としての資質能力」「教師の使命感」といった、より根本的な意 味を意識させていきたい。</p>
-------------------------------	---